

2020年度

大学教育の達成度調査報告書

2021年9月

教育運営委員会 学部・大学院教育部会

大学教育の達成度調査WG

調査実施方法

- 調査形式 : Web と紙媒体の併用(Web を推奨)
- アンケート(Web)回答期間 : 2021年3月8日(月)～3月31日(水)
- アンケート(紙)配付時期 : 2021年3月
- 2021年3月卒業者数 : 3,083名
- 有効回収数 : 953票
- 回収率 : 30.9% (回収率は、有効回収数/3月卒業者数 で計算した)

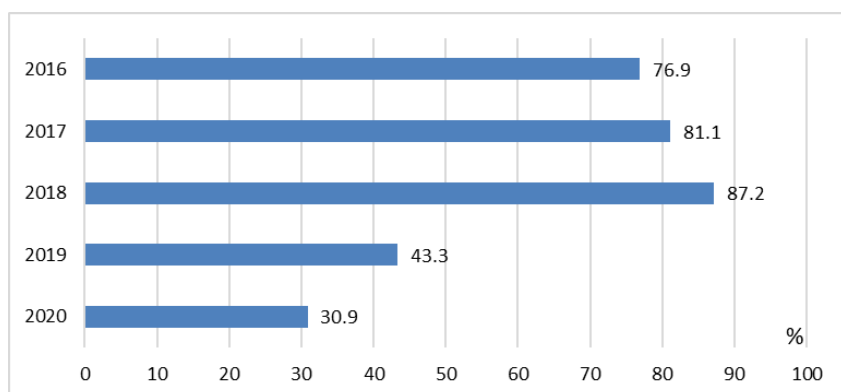
※これまでは紙媒体のみであったが、2020年度はWeb と紙媒体の併用(Web を推奨)とした。

紙媒体は、アンケート(Web)の回答期間中に、学生から希望があれば、各学部が配付した。

対面で各学部卒業式等を行う場合は、各学部の判断により可能であれば、各学部卒業式等で配付・回収した。

※グラフの個々の数字は、小数点以下を四捨五入しているため、数字を合計して100%にならない場合がある。

過去5年間の回収率



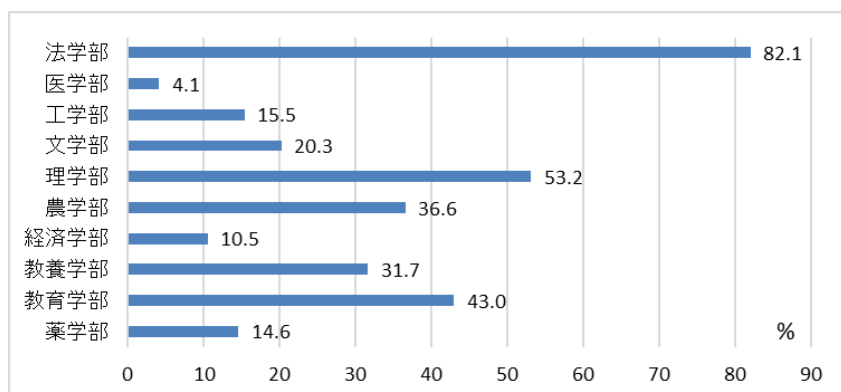
過去5年間の回収率について、2016年度～2018年度は回収率が8割～9割程度あったが、2019年度は43.3%、2020年度は30.9%であった。

全体の傾向としてみるためには留意が必要である。

<過去5年間の背景>

2016年度～2018年度は、学部(各学科)において、卒業式後の書類配付時等に調査票を配付、回収した。2019年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、返信用封筒を用いる回収方法を選択できるようにした。2020年度はWeb と紙媒体の併用(Web を推奨)とした。

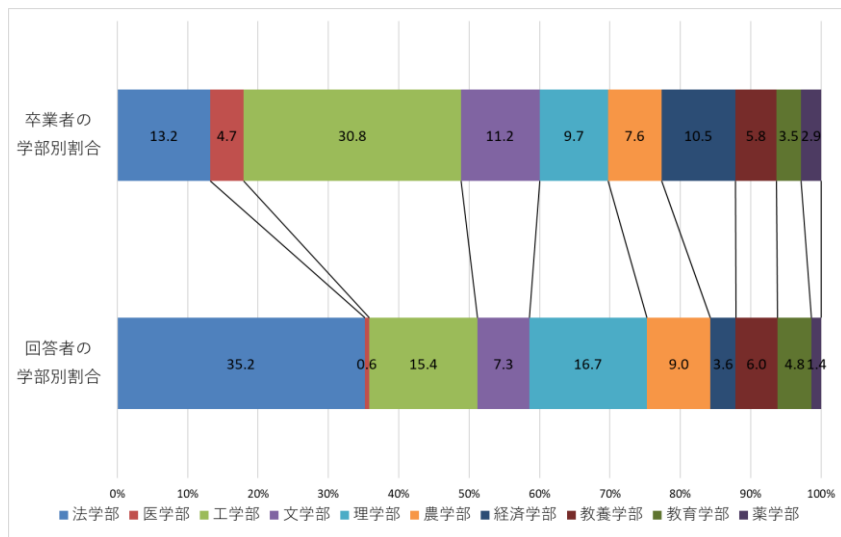
学部別回収率



学部別回収率について、法学部が82.1%と最も高い割合となっている。次いで理学部が53.2%、教育学部が43.0%、農学部が36.6%、教養学部が31.7%となっている。

I. 回答者の特性

後期課程 所属学部

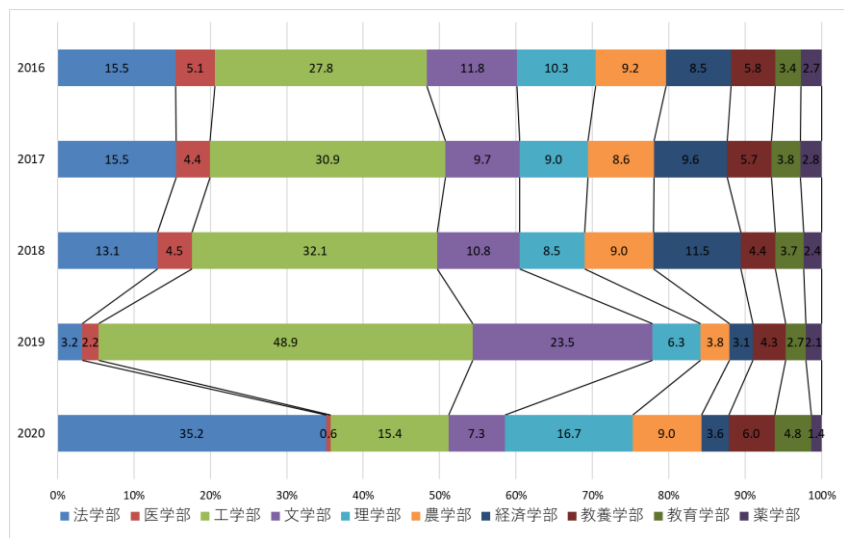


卒業生の学部別割合は、各学部の卒業生数/3月卒業生数で計算した。

回答者の学部別割合は、各学部の回収数/有効回収数で計算した。

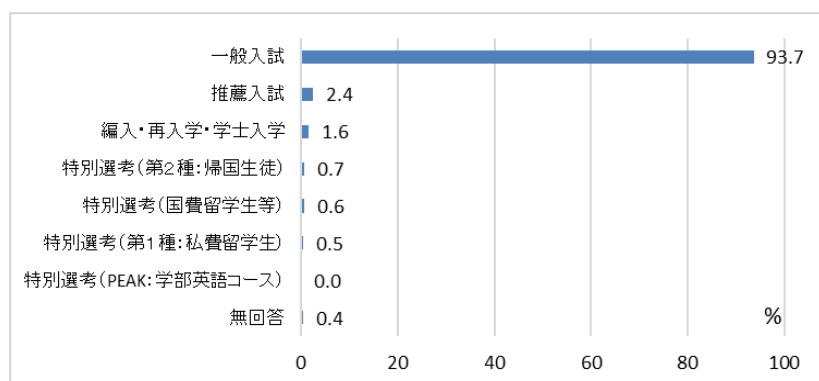
卒業生の学部別割合と回答者の学部別割合の差が大きい学部があるため、全体の傾向としてみるためには留意が必要である。

過去5年間の回答者の学部別割合



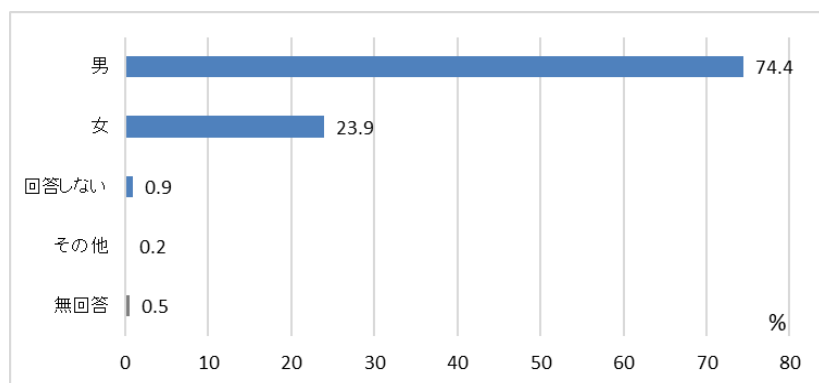
過去5年間の回答者の学部別割合について、2016年度～2018年度は各学部の増減が少ないが、2019年度は工学部と文学部の増加が大きく、2020年度は法学部の増加、工学部と文学部の減少が大きくなっているため、全体の傾向としてみるためには留意が必要である。

I-2. 入学試験



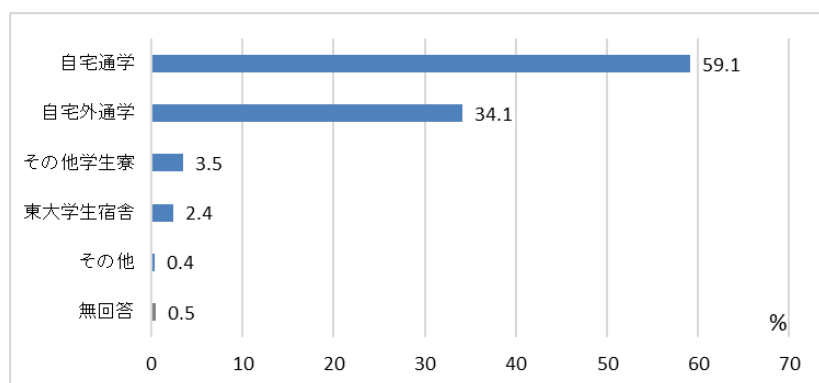
回答者のうち、一般入試が93.7%と最も高い割合となっている。次いで推薦入試が2.4%、編入・再入学・学士入学が1.6%、特別選考(第2種: 帰国生徒)が0.7%、特別選考(国費留学生等)が0.6%、特別選考(第1種: 私費留学生)が0.5%となっている。

I-8. 性別



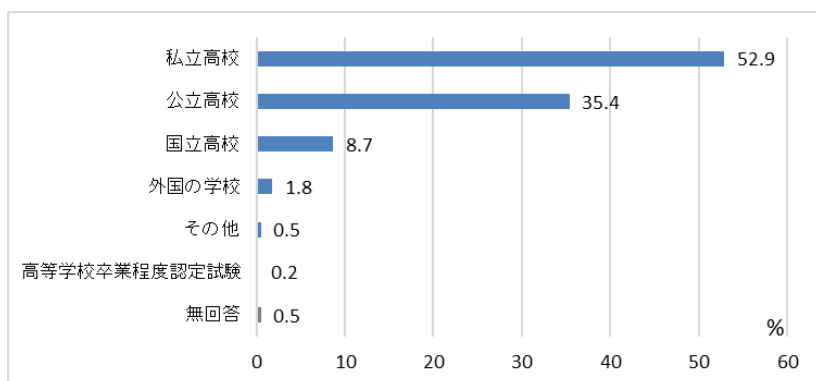
回答者のうち、男性が74.4%、女性が23.9%、回答しないが0.9%となっている。

I-9. 通学・住居



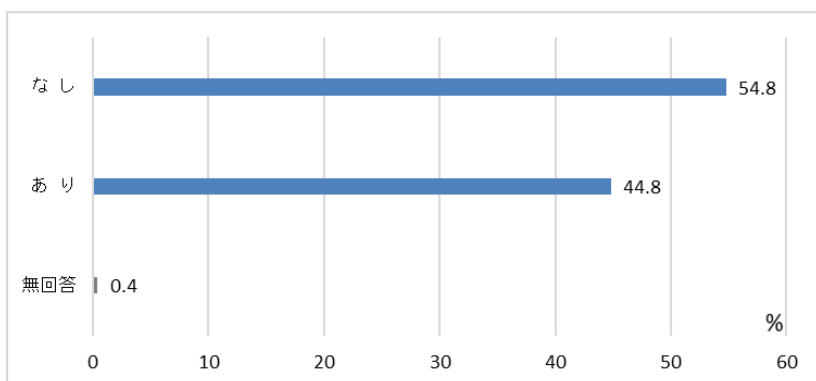
回答者のうち、自宅通学が59.1%、自宅外通学が34.1%、その他学生寮が3.5%、東大学生宿舎が2.4%となっている。

I-10. 出身高校等



回答者のうち、私立高校が52.9%、公立高校が35.4%、国立高校が8.7%となっている。また、外国の学校は1.8%となっている。

I-11. 高校受験経験の有無



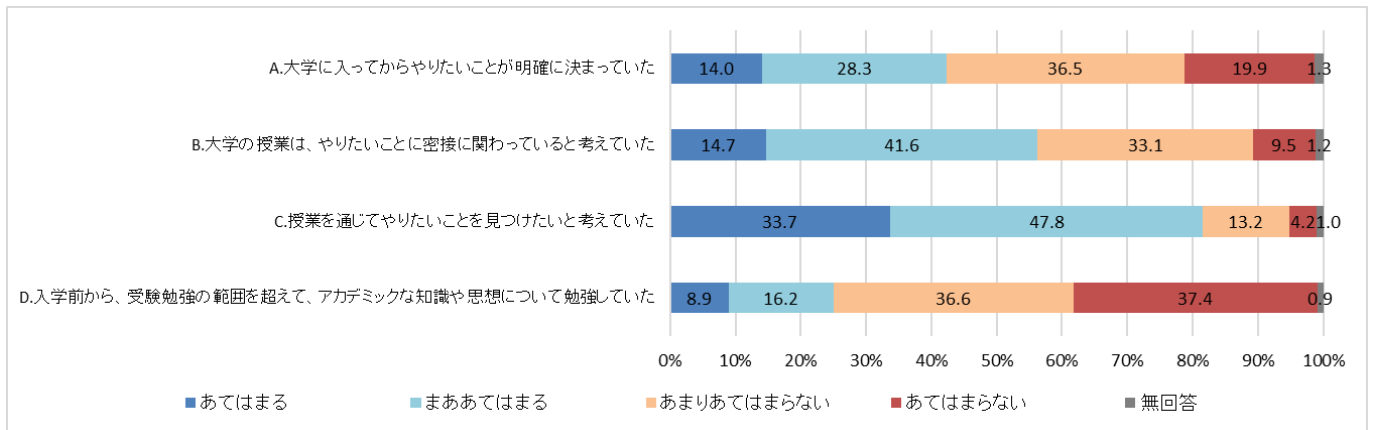
回答者のうち、高校受験の経験がないのは54.8%、高校受験の経験があるのは44.8%となっている。

Ⅱ. 在学時の経験

Ⅱ-1. 入学時の様子

- ・「大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた」は42.3%
- ・「授業を通じてやりたいことを見つけたいと考えていた」は81.5%

Ⅱ-1. 入学時の様子について伺います。つぎのことは、どの程度あてはまりますか。



入学時の様子について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「C. 授業を通じてやりたいことを見つけたいと考えていた」(81.5%)が最も高い割合となっている。次いで「B. 大学の授業は、やりたいことに密接に関わっていると考えていた」(56.3%)、「A. 大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた」(42.3%)、「D. 入学前から、受験勉強の範囲を超えて、アカデミックな知識や思想について勉強していた」(25.1%)の順となっている。

II-2. 大学時代を通じての経験

- ・ 両課程共通して、「優れた友人に感化された」が高い割合
前期課程は79.4%、後期課程は82.6%

II-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

	前期課程 (%)			後期課程 (%)		
	あてはまる	まああてはまる	合計	あてはまる	まああてはまる	合計
A. 自主勉強会など自分の興味ある学修をする機会を得られた	13.6	23.4	37.0	20.4	34.1	54.5
B. 一つのことに関心して取り組んだことがある	38.1	29.7	67.8	45.3	31.7	77.0
C. 優れた友人に感化された	46.2	33.2	79.4	52.7	29.9	82.6
D. 研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた	38.1	26.8	64.9	35.0	27.8	62.8
E. 自分の専門以外の本をよく読んだ	18.3	32.7	51.0	14.2	26.1	40.3
F. 専門書や学術雑誌をよく読んだ	8.6	19.3	27.9	27.2	34.4	61.6
G. 前期課程では、後期課程の授業を理解するだけの能力や前提となる知識が身につかなかった	10.2	30.4	40.6			
H. 後期課程では授業についていくのに苦労した				11.2	30.3	41.5
I. 就職活動に時間を割きすぎた				4.1	8.0	12.1

前期課程における経験について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「C. 優れた友人に感化された」(79.4%)が最も高い割合となっている。次いで「B. 一つのことに関心して取り組んだことがある」(67.8%)、「D. 研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた」(64.9%)の順となっている。

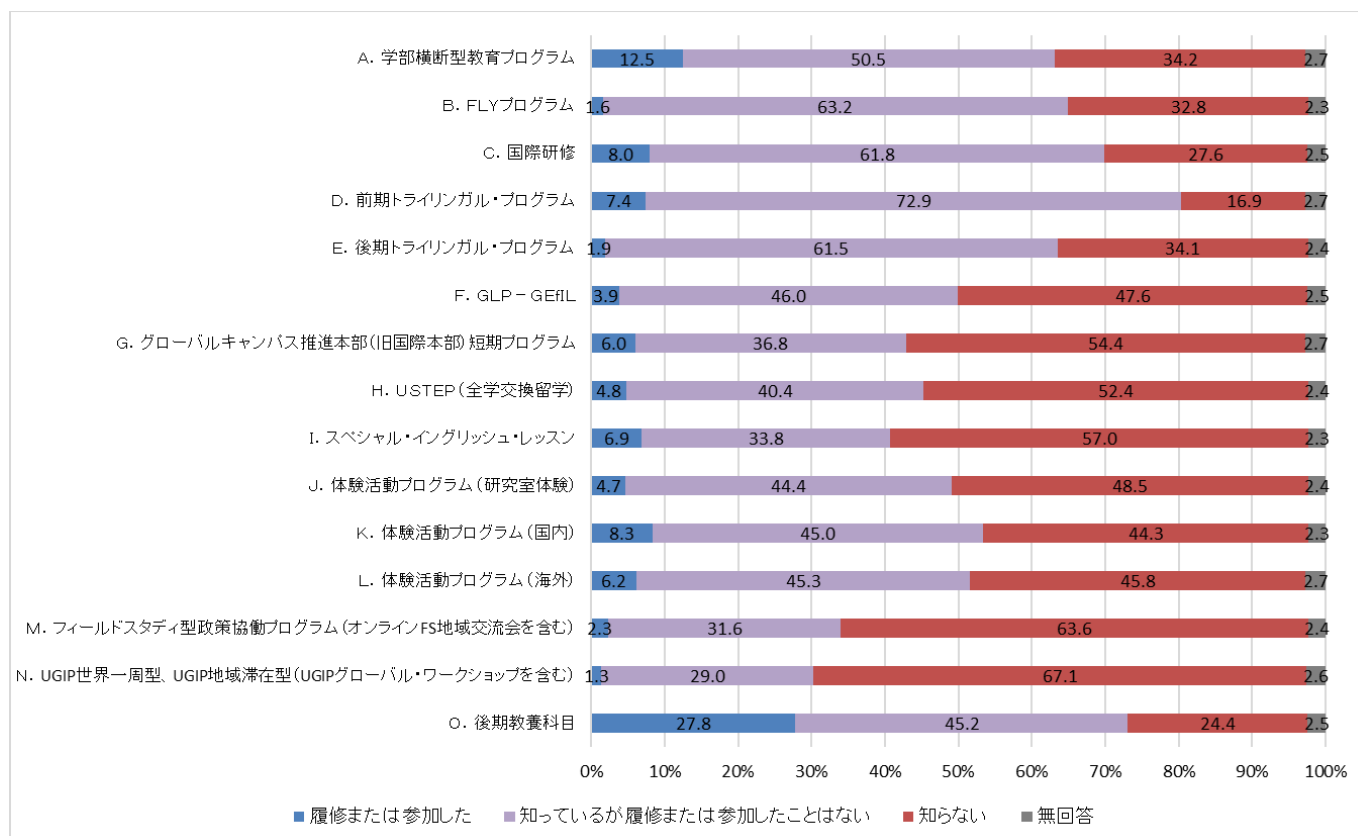
後期課程における経験について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「C. 優れた友人に感化された」(82.6%)が最も高い割合となっている。次いで「B. 一つのことに関心して取り組んだことがある」(77.0%)、「D. 研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた」(62.8%)の順となっている。

前期課程・後期課程共通して、「C. 優れた友人に感化された」が高い割合となっている。

II-3. 大学が提供する各種プログラム等

- ・「後期教養科目」の履修または参加率は27.8%
「学部横断型教育プログラム」の履修または参加率は12.5%
そのほかのプログラムは10%未満
- ・「前期トライリンガル・プログラム」は80.3%が認知

II-3. 大学が提供するプログラム等の履修または参加について伺います。



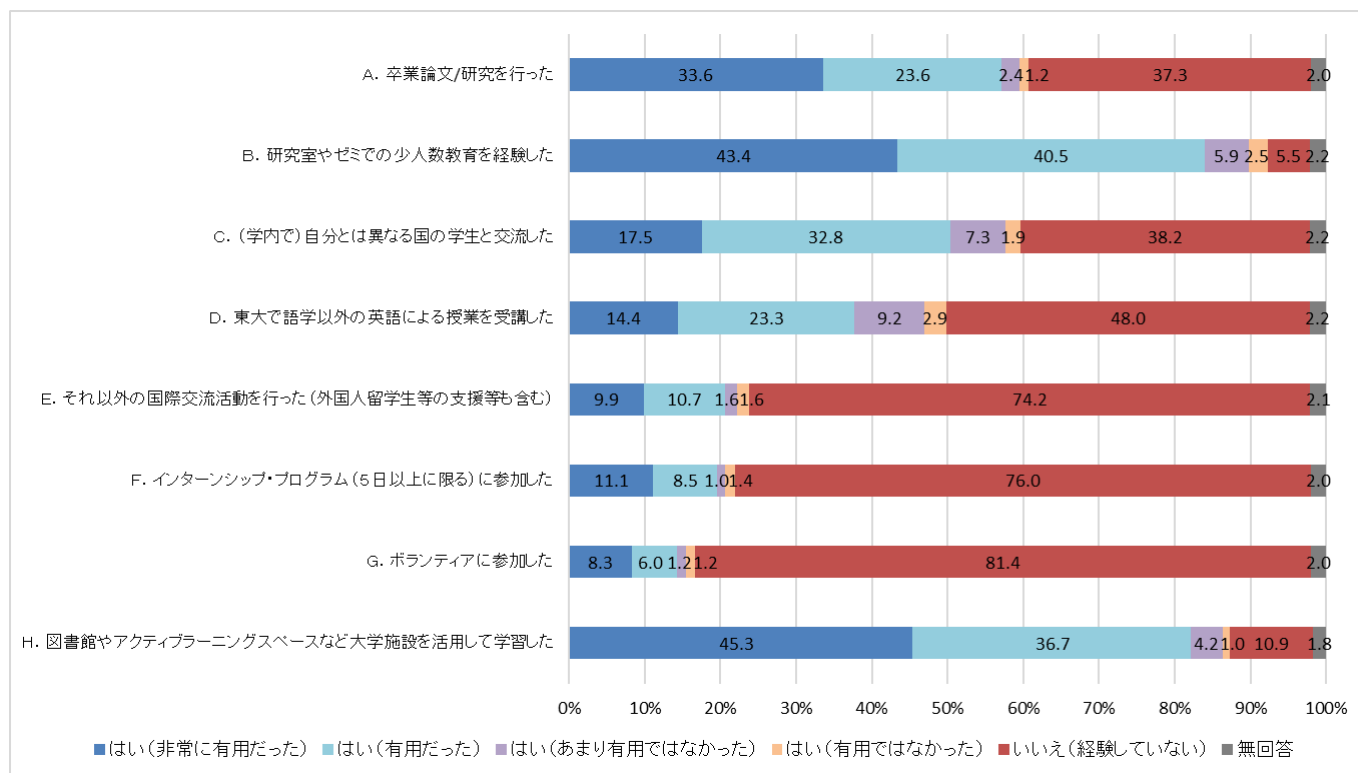
大学が提供する各種プログラム等について、「履修または参加した」の回答が、「O. 後期教養科目」(27.8%)が最も高い割合となっている。次いで「A. 学部横断型教育プログラム」(12.5%)、「K. 体験活動プログラム(国内)」(8.3%)の順となっている。

一方で、「履修または参加した」と「知っているが履修または参加したことはない」の合計が、「D. 前期トライリンガル・プログラム」(80.3%)が最も高い割合となっている。次いで「O. 後期教養科目」(73.0%)、「C. 国際研修」(69.8%)の順となっている。

II-4. 在学時の学修機会・経験

- ・「研究室やゼミでの少人数教育を経験した」は92.3%
- ・「図書館やアクティブラーニングスペースなど大学施設を活用して学習した」は87.2%
- ・「卒業論文/研究を行った」は60.8%

II-4. 在学時の学修機会・経験について伺います。



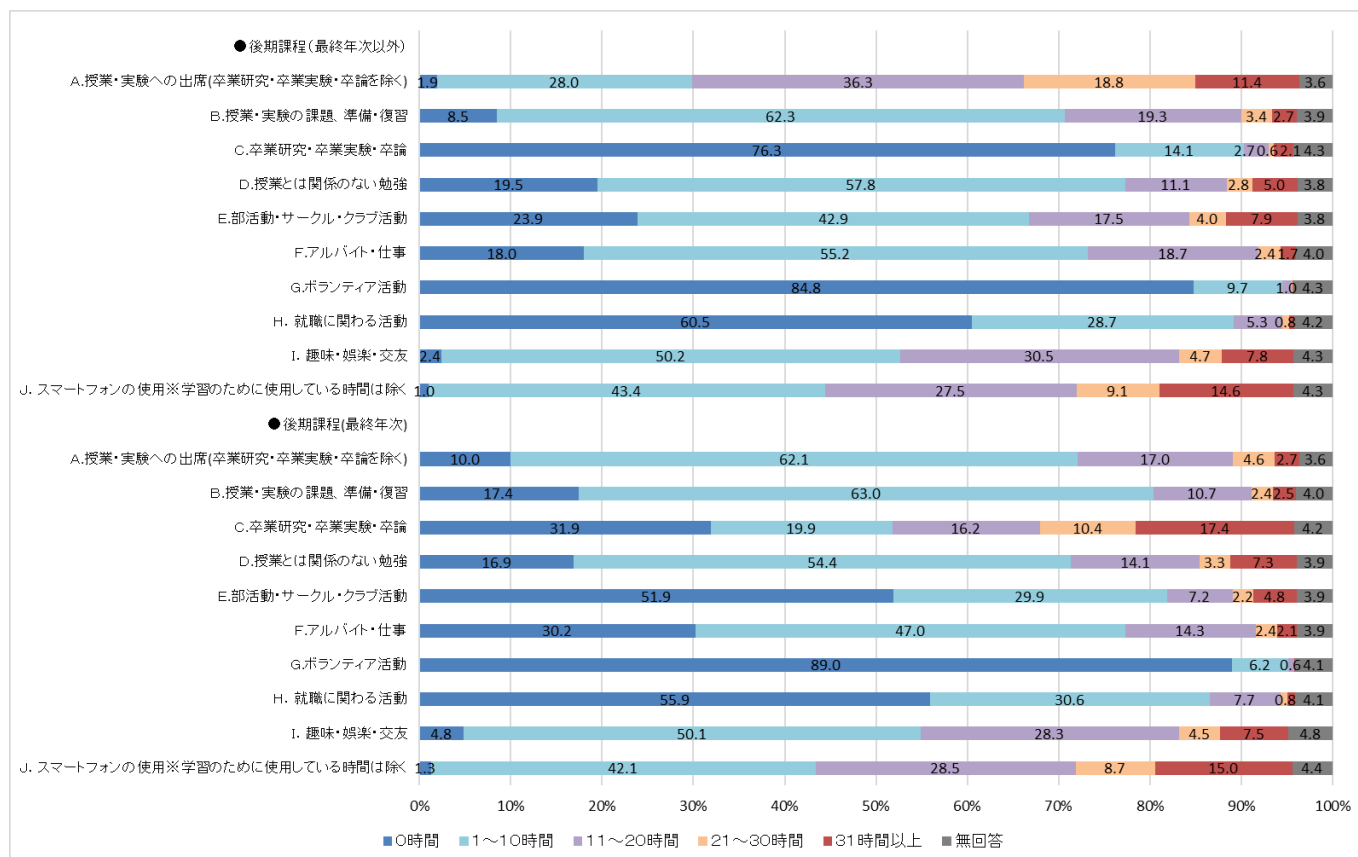
在学時の学修機会・経験について、経験者(「はい(非常に有用だった)」と「はい(有用だった)」と「はい(あまり有用ではなかった)」と「はい(有用ではなかった)」の合計)の回答が、「B. 研究室やゼミでの少人数教育を経験した」(92.3%)が最も高い割合となっている。次いで「H. 図書館やアクティブラーニングスペースなど大学施設を活用して学習した」(87.2%)、「A. 卒業論文/研究を行った」(60.8%)、「C. (学内で)自分とは異なる国の学生と交流した」(59.5%)、「D. 東大で語学以外の英語による授業を受講した」(49.8%)の順となっている。

経験者は、全体的に「はい(非常に有用だった)」と「はい(有用だった)」が高い割合となっている。

II-5. 生活時間

- 後期課程（最終年次以外）：「授業・実験の課題、準備・復習」は、週に「10時間以下」が70.8%
- 後期課程（最終年次）：「授業・実験の課題、準備・復習」は、週に「10時間以下」が80.4%、「卒業研究・卒業実験・卒論」は、週に「31時間以上」が17.4%

II-5. 典型的な1週間（土、日を含む）の平均的な生活時間を、学期中について伺います。それぞれの活動に1週間（7日）あたり何時間あててきたか、およその時間数に該当する数字を1つ選んで、それぞれの欄に記入してください。



生活時間について、典型的な1週間（土、日を含む）の時間数を学期中について、それぞれ後期課程（最終年次以外）と後期課程（最終年次）の状況をたずねた。

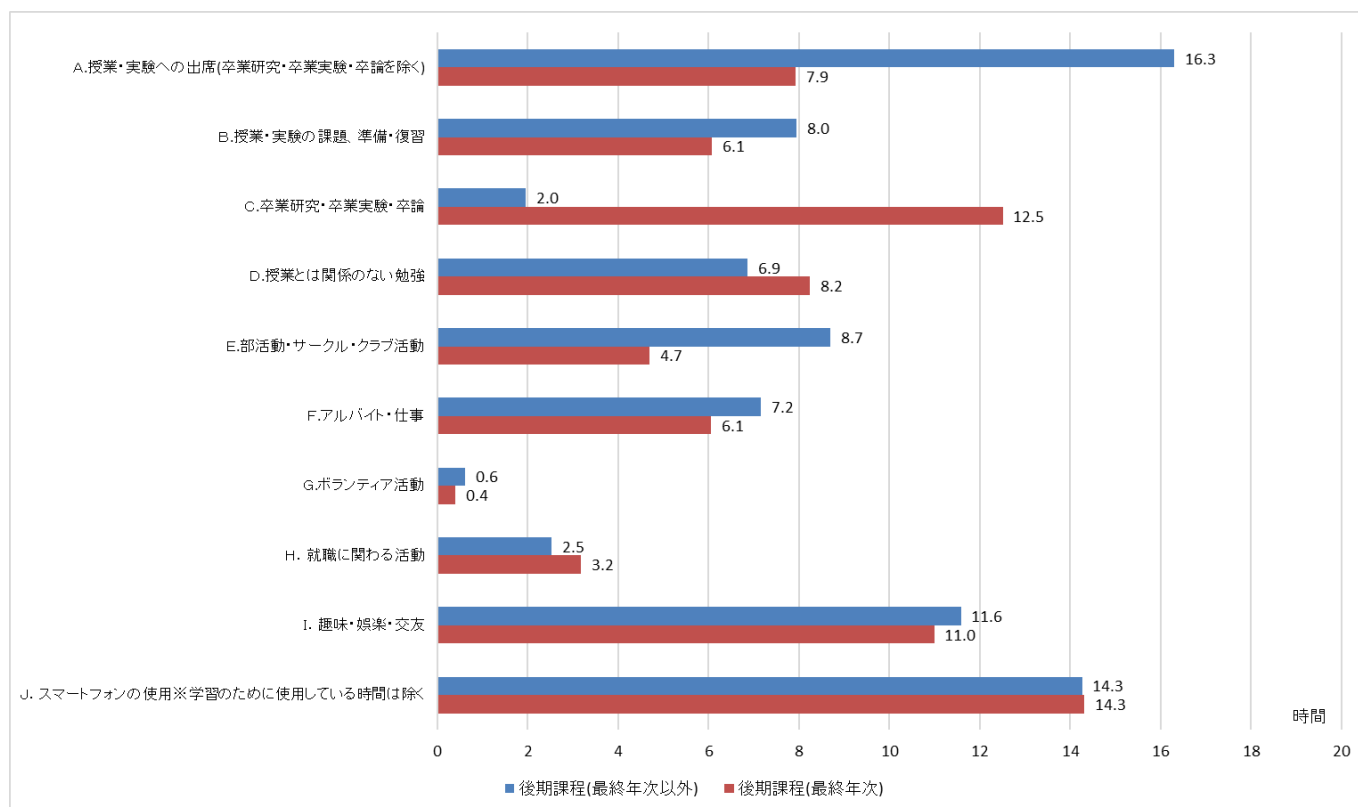
「B. 授業・実験の課題、準備・復習」について、「10時間以下」は後期課程（最終年次以外）では70.8%、後期課程（最終年次）では80.4%となっている。「C. 卒業研究・卒業実験・卒論」は後期課程（最終年次）では「31時間以上」が17.4%で、最も高い割合となっている。

「D. 授業とは関係のない勉強」について、「0時間」は後期課程（最終年次以外）では19.5%、後期課程（最終年次）では16.9%となっている。「G. ボランティア活動」について、「0時間」は後期課程（最終年次以外）では84.8%、後期課程（最終年次）では89.0%となっている。

II-5'. 生活時間の平均

- ・「授業・実験への出席(卒業研究・卒業実験・卒論を除く)」は、
後期課程（最終年次以外）で16時間、後期課程（最終年次）で8時間
- ・「授業・実験の課題、準備・復習」は、
後期課程（最終年次以外）で8時間、後期課程（最終年次）で6時間
- ・「卒業研究・卒業実験・卒論」は、
後期課程（最終年次以外）で2時間、後期課程（最終年次）で13時間

II-5. 典型的な1週間（土、日を含む）の平均的な生活時間を加工し、生活時間の平均を算出



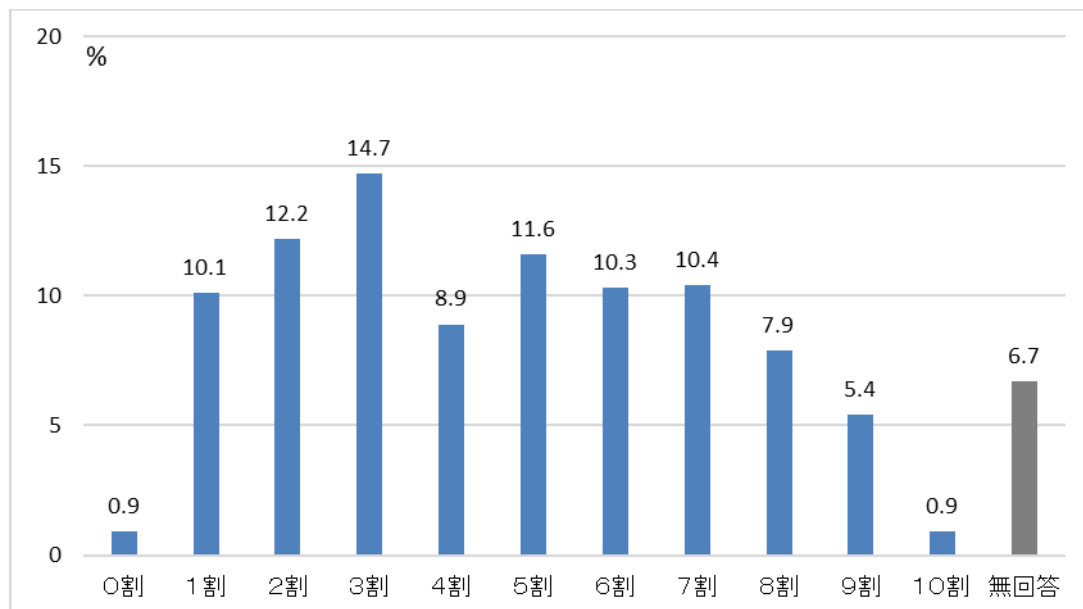
生活時間の回答のそれぞれの中位値（たとえば、「1～5時間」では3時間）を取り、平均を算出した。なお、「21～30時間」は25時間、「31時間以上」は33時間として算出した。

学期中の時間数の平均について、「A. 授業・実験への出席（卒業研究・卒業実験・卒論を除く）」は、後期課程（最終年次以外）で16.3時間、後期課程（最終年次）には7.9時間となっている。「B. 授業・実験の課題、準備・復習」は、後期課程（最終年次以外）で8.0時間、後期課程（最終年次）には6.1時間となっている。「C. 卒業研究・卒業実験・卒論」は、後期課程（最終年次以外）で2.0時間、後期課程（最終年次）には12.5時間となっている。また、「D. 授業とは関係のない勉強」については、後期課程（最終年次以外）で6.9時間、後期課程（最終年次）で8.2時間となっている。

II-6. 成績

・「優の割合」は3割が最も多く、次いで2割と5割

II-6. あなたの成績について伺います。「優」(A)は何割くらいありましたか。数値を()に記入してください。「優上」を含めた割合をお答えください。



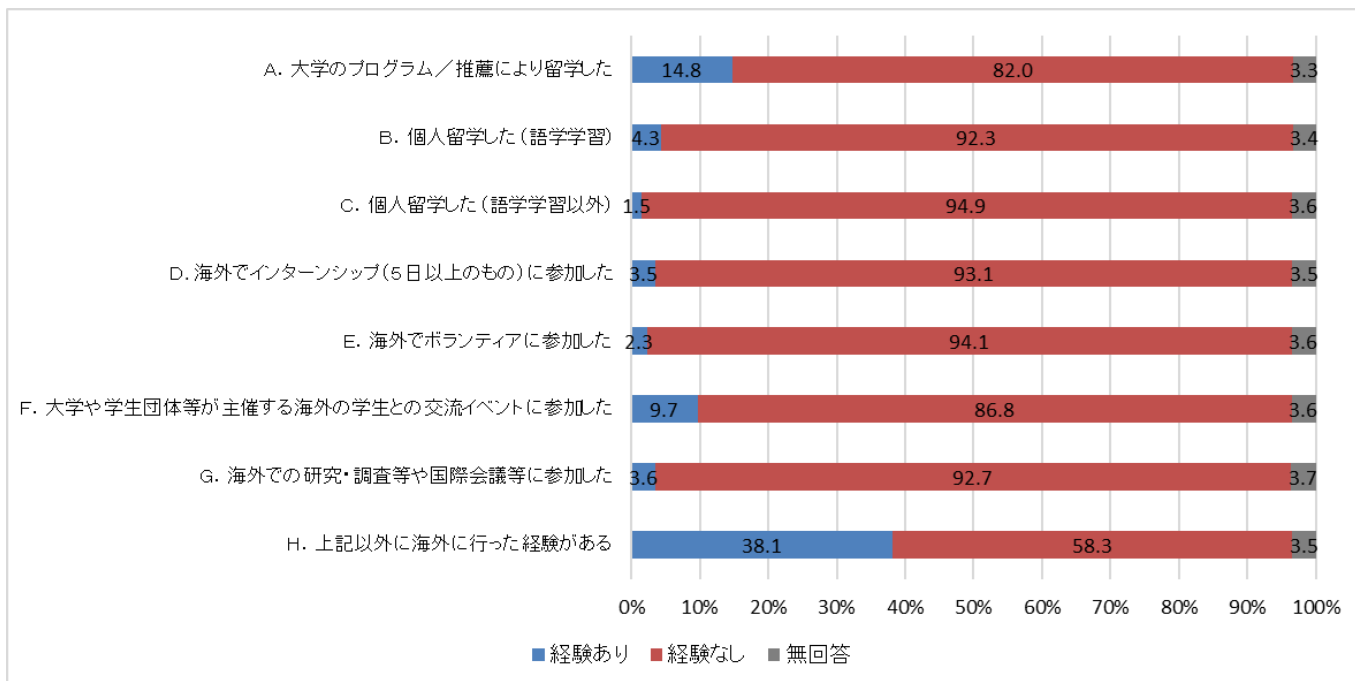
成績の自己評価について、優の割合で見ると、「3割」が14.7%と最も多く、次いで「2割」が12.2%、「5割」が11.6%となっている。

Ⅲ. 在学時の海外経験等

Ⅲ-1. 海外経験

- ・「大学のプログラム／推薦により留学した」の経験は14.8%
- ・「大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベントに参加した」の経験は9.7%

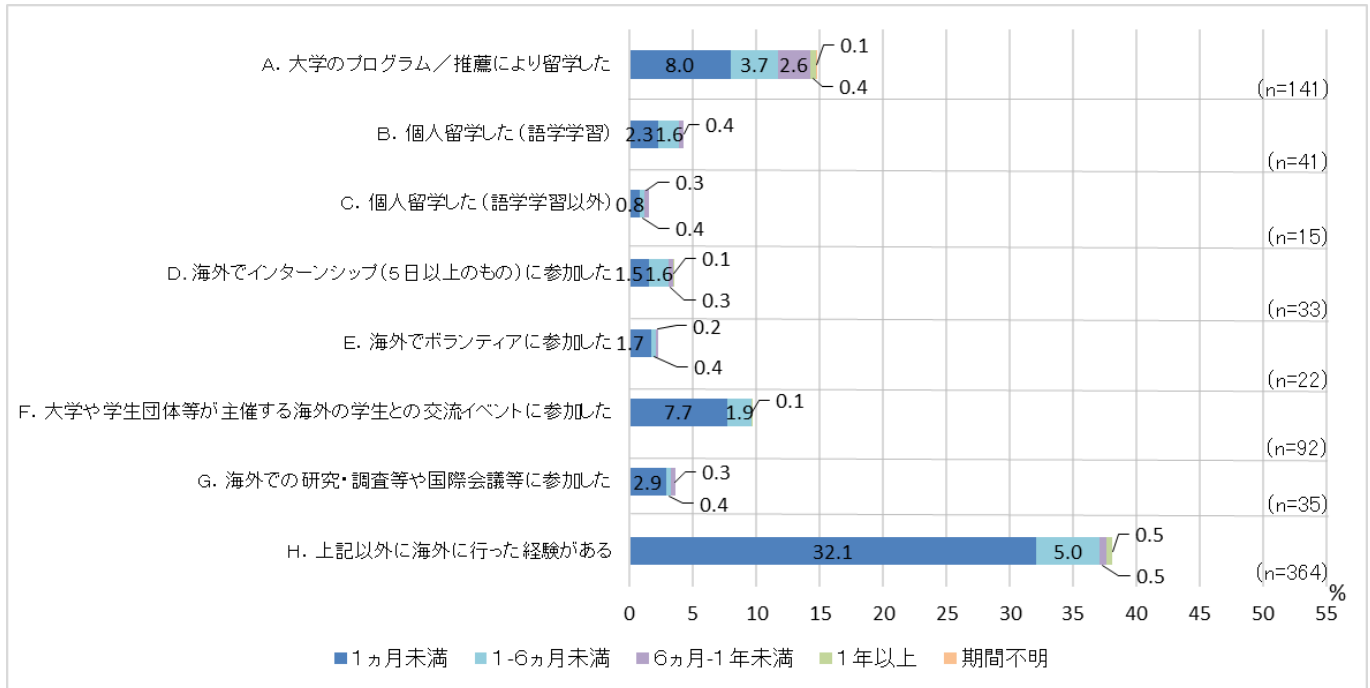
Ⅲ-1-①. 在学時の海外経験等について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。



在学時の海外経験等について、「A. 大学のプログラム／推薦により留学した」(14.8%)の回答が最も高い割合となっている。次いで「F. 大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベントに参加した」(9.7%)、「B. 個人留学した(語学学習)」(4.3%)、「G. 海外での研究・調査等や国際会議等に参加した」(3.6%)の順となっている。また、「H. 上記以外に海外に行った経験がある」は38.1%になっている。

Ⅲ-1'. 海外経験の期間

・「海外でインターンシップ（5日以上のもの）に参加した」以外の項目で、1ヶ月未満が最も高い割合

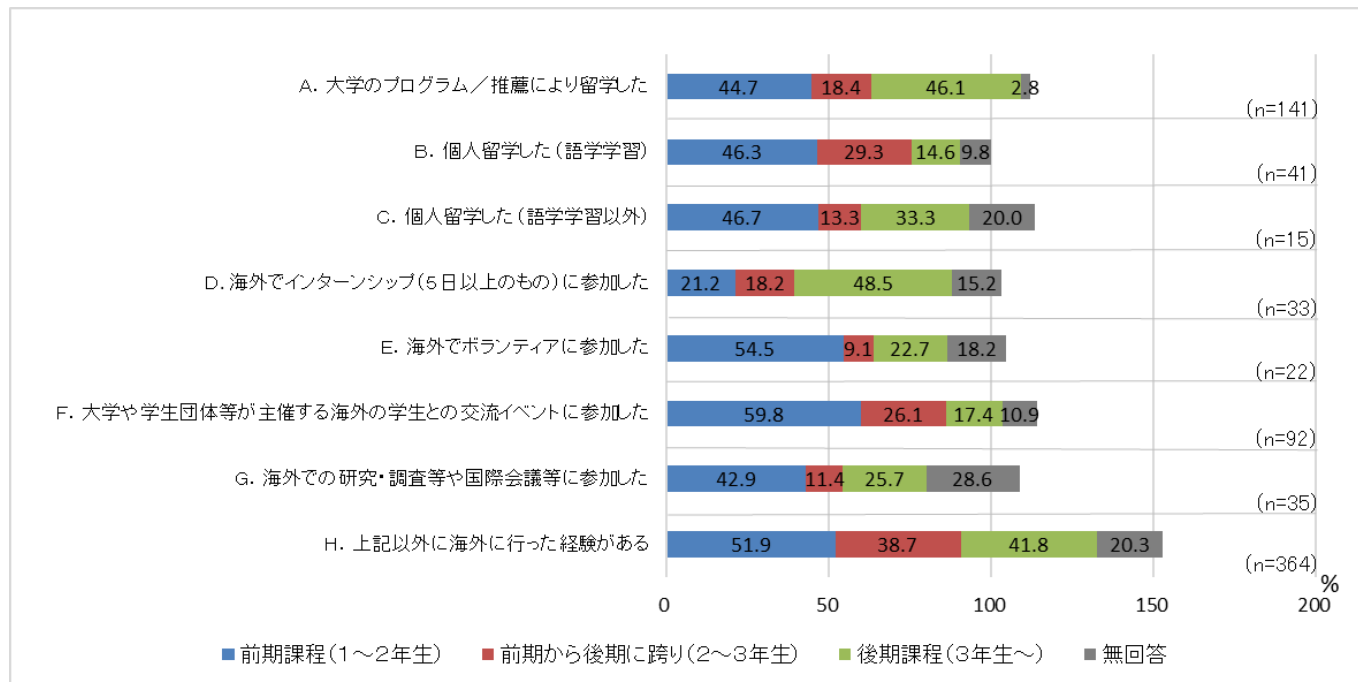


海外経験の期間について、「D. 海外でインターンシップ(5日以上のもの)に参加した」以外の項目で、1ヶ月未満が最も高い割合となっている。一方で、1ヶ月以上の期間は、「A. 大学のプログラム／推薦により留学した」(6.7%)、「B. 個人留学した（語学学習）」(2.0%)となっている。

Ⅲ-1-②. 海外経験の時期

- ・ 前期課程（1～2年生）：全体的に海外経験の割合が高い
- ・ 前期から後期に跨り（2～3年生）：全体的に海外経験の割合が低い

Ⅲ-1-②. 上記Ⅲ-1-①で「経験あり」を選択した場合は時期をお答えください。複数の年度で複数回経験している場合には、それぞれの時期に○をつけてください。



在学時の海外経験について、経験者にどの時期に経験をしたかをたずねた。複数回答のため、合計は 100%を超えている。

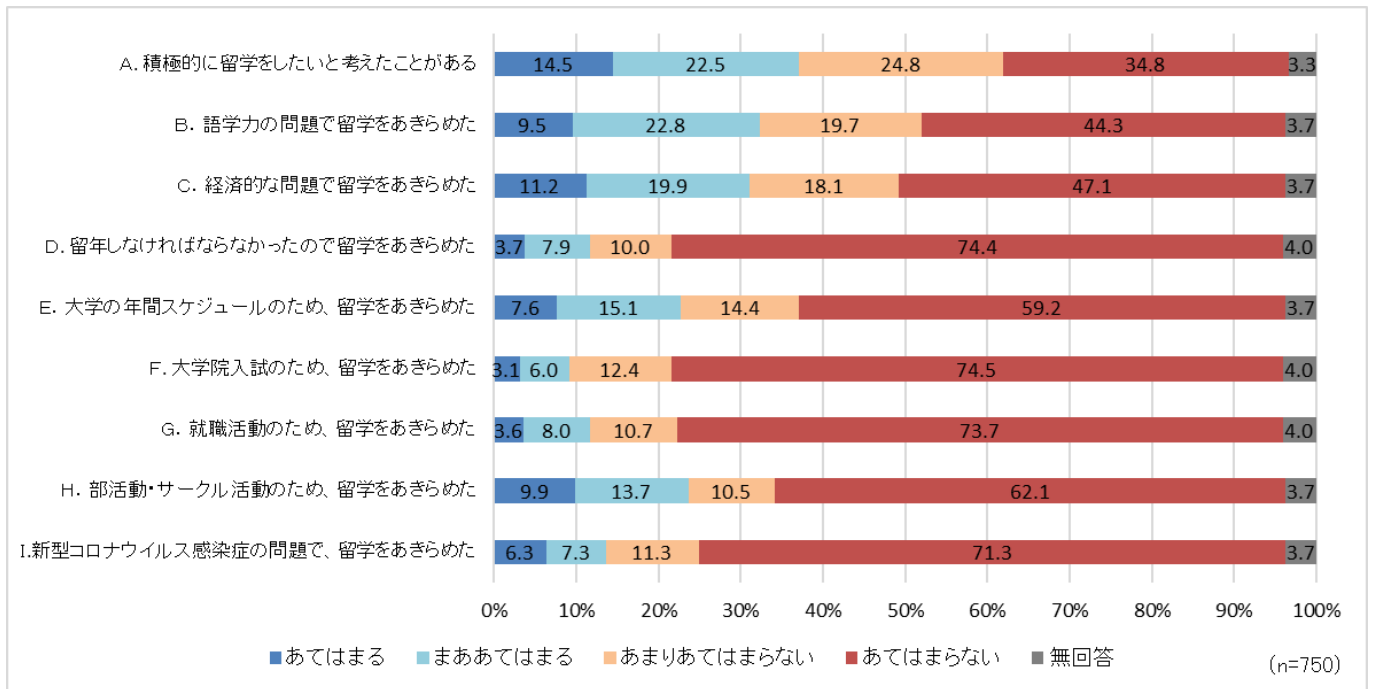
全体的に、前期課程(1～2年生)の割合が高い。具体的には、「F. 大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベントに参加した」(59.8%)、「E. 海外でボランティアに参加した」(54.5%)となっている。そのほかのプログラムでも、前期課程(1～2年生)は20%以上となっている。後期課程(3年生～)が前期課程(1～2年生)の割合を上回っているのは、「D. 海外でインターンシップ(5日以上のもの)に参加した」(48.5%)、「A. 大学のプログラム／推薦により留学した」(46.1%)となっている。

全体的に、前期から後期に跨り(2～3年生)の割合が低い。

Ⅲ-1-③. 留学の障害

- ・「語学力の問題」は32.3%、「経済的な問題」は31.1%
- ・「部活動・サークル活動」は23.6%、「大学の年間スケジュール」は22.7%
- ・「積極的に留学をしたいと考えたことがある」は37.0%

Ⅲ-1-③. 在学中に留学しなかった方(上記Ⅲ-1-①のAからCの経験がない方)に伺います。

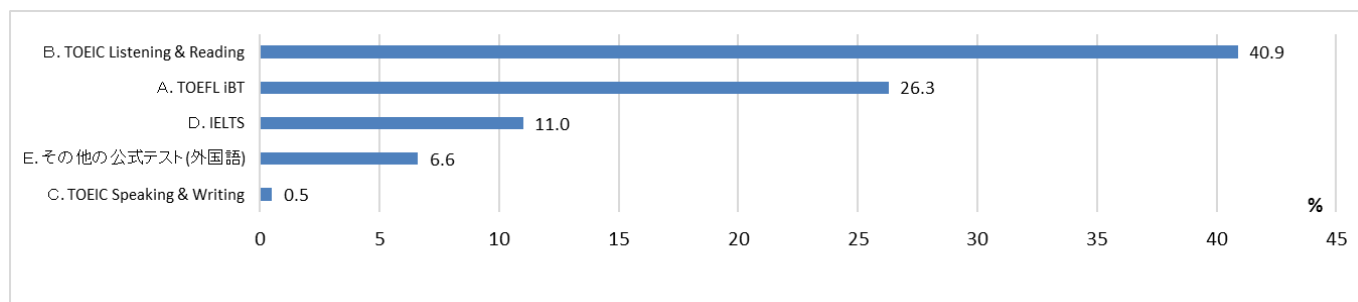


留学の障害について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「B. 語学力の問題で留学をあきらめた」(32.3%)が最も高い割合となっている。次いで「C. 経済的な問題で留学をあきらめた」(31.1%)、「H. 部活動・サークル活動のため、留学をあきらめた」(23.6%)、「E. 大学の年間スケジュールのため、留学をあきらめた」(22.7%)の順となっている。なお、「A. 積極的に留学をしたいと考えたことがある」は37.0%となっている。

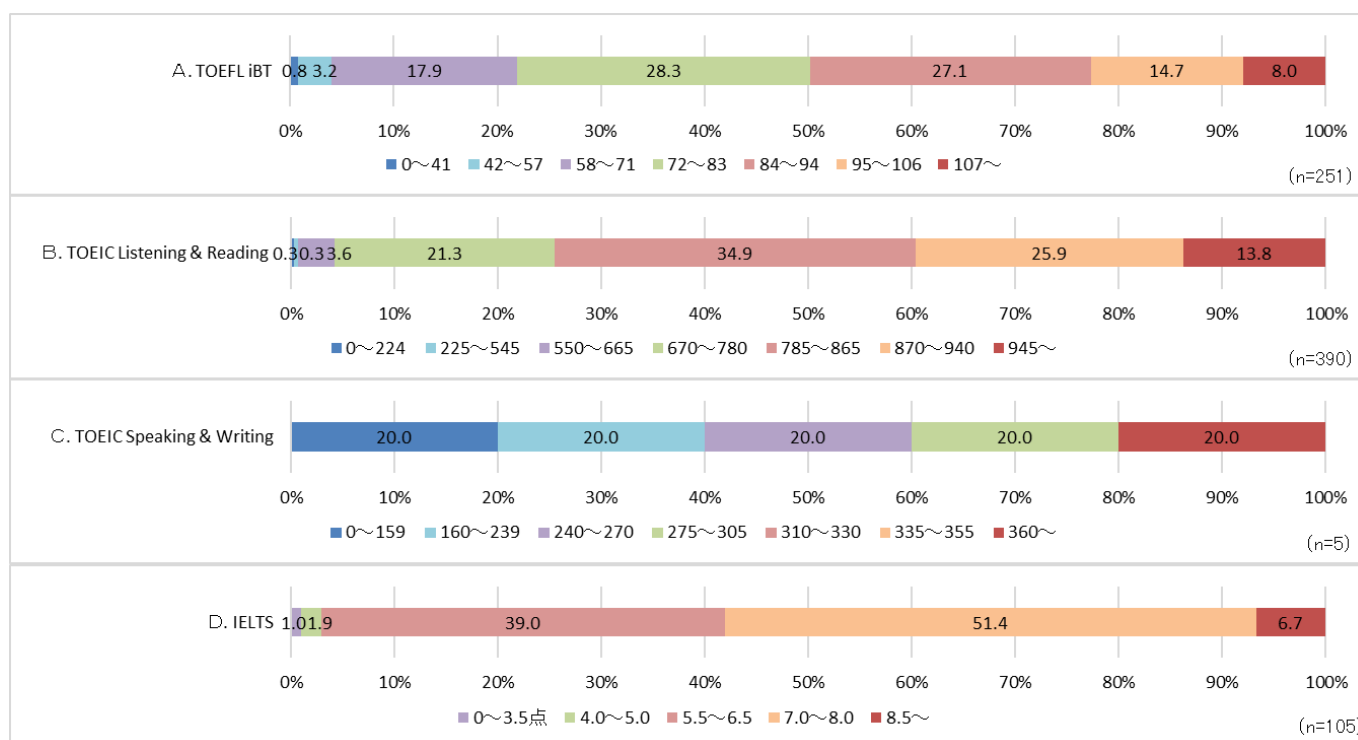
Ⅲ-2. 外国語テスト

- ・「TOEIC L&R受験者」は40.9%、「TOEFL iBT受験者」は26.3%、「IELTS受験者」は11.0%
- ・ TOEIC L&Rは「785～865点」、TOEFL iBTは「72～83点」、IELTSは「7.0～8.0点」が最も高い割合

Ⅲ-2. あなたは、在学中にTOEFL iBTやTOEIC、IELTS等の公式テストを受験したことがありますか。また、点数はどのくらいでしたか。



TOEIC Listening & Reading 受験者は 40.9%、TOEFL iBT 受験者は 26.3%、IELTS 受験者は 11.0%、TOEIC Speaking & Writing 受験者は 0.5%、その他の公式テスト受験者は 6.6%となっている。



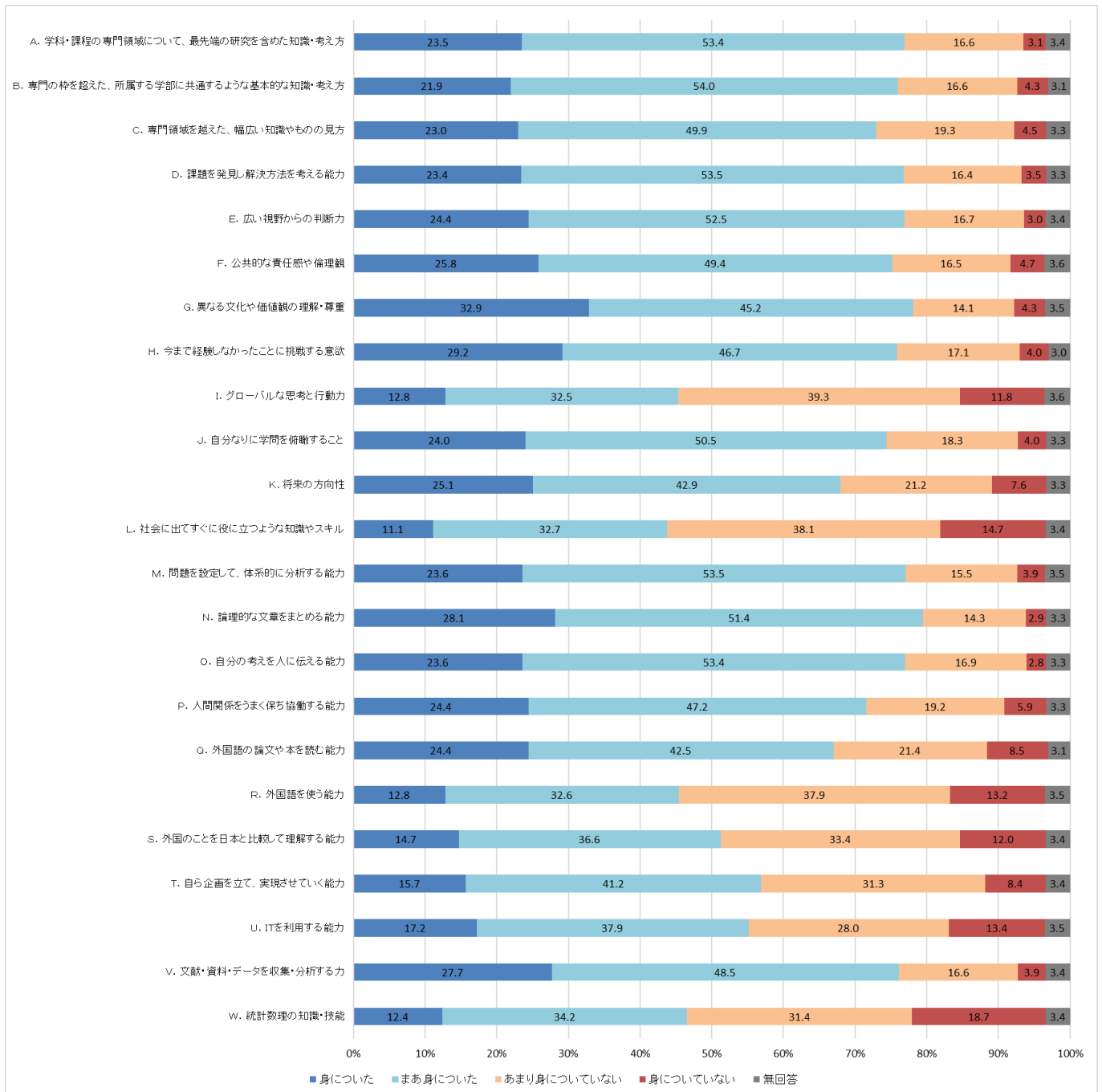
それぞれの得点の分布は、満点が異なるため、割合で示すと、TOEFL iBT は「72～83 点」(28.3%)、TOEIC Listening & Reading 「785～865 点」(34.9%)、IELTS は「7.0～8.0 点」(51.4%) が最も高い割合となっている。なお、TOEIC Speaking & Writing の割合については回答者の母数が少ないため特に記載しない。

IV. 在学時の学修

IV-1. 身につけた点

- ・「社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル」：43.8%
- ・「グローバルな思考と行動力」：45.3%
- ・「外国語を使う能力」：45.4%
- ・「統計数理の知識・技能」：46.6%

IV-1. あなたは、つぎのような点を身につけたと思いますか。

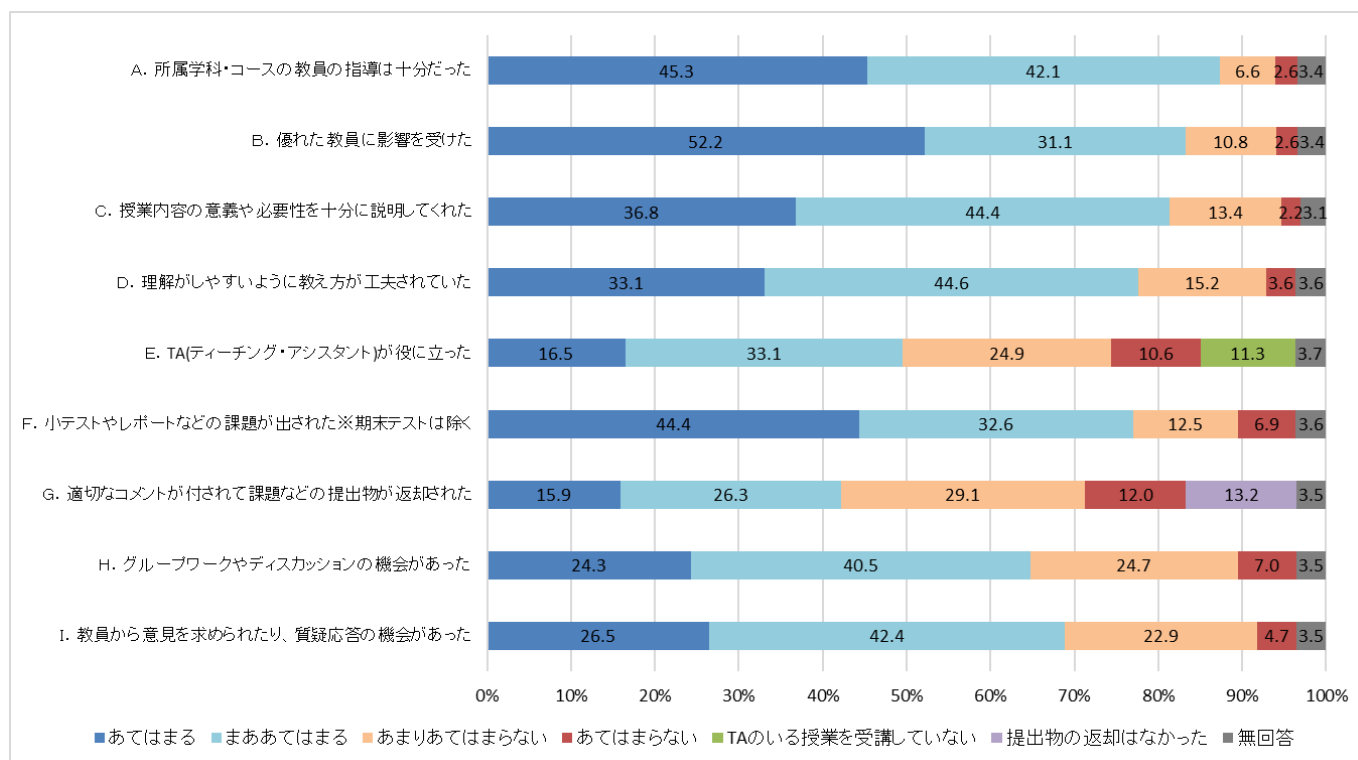


在学時の学修で身につけた点について、「身についた」と「まあ身についた」の合計が、「L. 社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル」(43.8%)が最も低い割合となっている。次いで「I. グローバルな思考と行動力」(45.3%)、「R. 外国語を使う能力」(45.4%)、「W. 統計数理の知識・技能」(46.6%)の順となっている。

IV-2. 教員や教育制度、受講した授業

- ・「所属学科・コースの教員の指導は十分だった」は87.4%
- ・「優れた教員に影響を受けた」は83.3%
- ・「授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた」は81.2%
- ・「適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却された」は42.2%

IV-2. 教員や教育制度との関係、受講した授業について伺います。

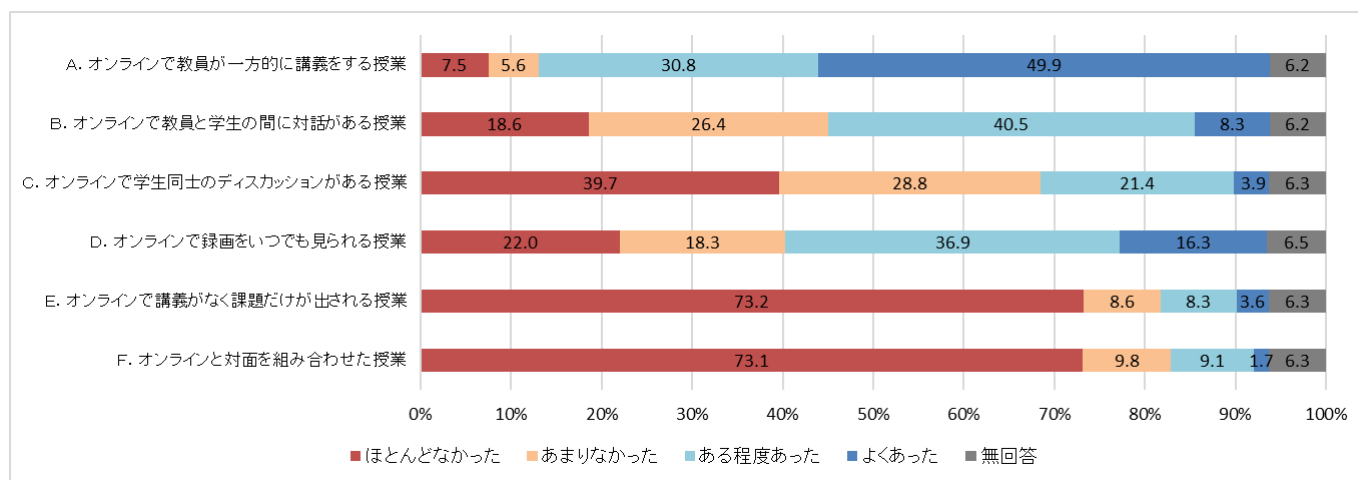


教員や教育制度、受講した授業について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「A. 所属学科・コースの教員の指導は十分だった」(87.4%)が最も高い割合となっている。次いで「B. 優れた教員に影響を受けた」(83.3%)、「C. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた」(81.2%)の順となっている。一方で、「G. 適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却された」は42.2%となっている。

IV-3. オンライン授業

- ・「ほとんどなかった」「あまりなかった」：
「オンラインと対面を組み合わせた授業」は82.9%
「オンラインで講義がなく課題だけが出される授業」は81.8%
「オンラインで学生同士のディスカッションがある授業」は68.5%
「オンラインで教員と学生の間に対話がある授業」は45.0%

IV-3. あなたが今年度で大学で受けたオンライン授業の中で、つぎのような授業はおおよそどれくらいありましたか。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

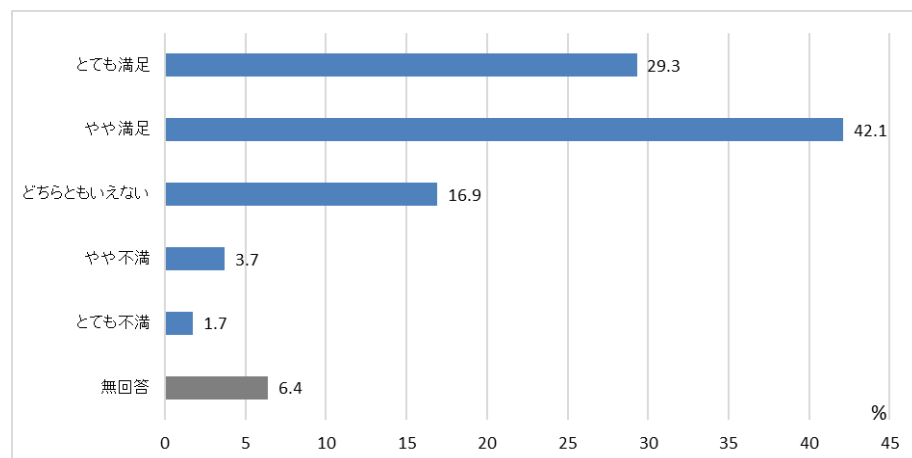


オンライン授業について、「ほとんどなかった」と「あまりなかった」の合計が、「F. オンラインと対面を組み合わせた授業」(82.9%)が最も高い割合となっている。次いで「E. オンラインで講義がなく課題だけが出される授業」(81.8%)、「C. オンラインで学生同士のディスカッションがある授業」(68.5%)、「B. オンラインで教員と学生の間に対話がある授業」(45.0%)の順となっている。

IV-4. オンライン授業への取り組み

- ・「やや満足」は42.1%
- ・「とても満足」は29.3%
- ・「どちらともいえない」は16.9%

IV-4. 東京大学でのオンライン授業への取り組みに対して、あなたはどのように感じていますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

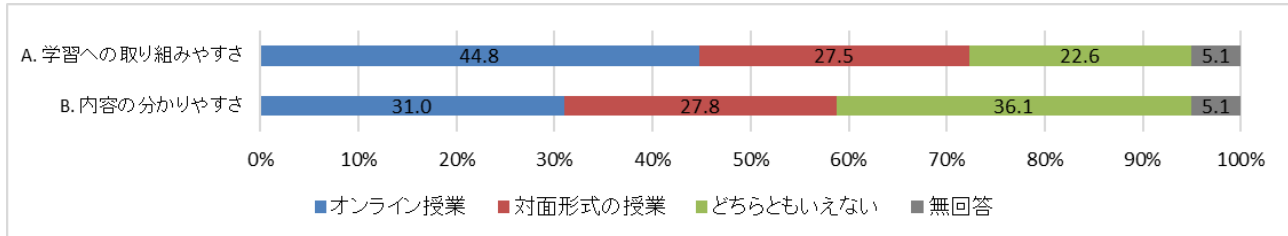


オンライン授業への取り組みについて、「やや満足」(42.1%)が最も高い割合となっている。次いで「とても満足」(29.3%)、「どちらともいえない」(16.9%)、「やや不満」(3.7%)、「とても不満」(1.7%)の順となっている。

IV-5. オンライン授業と対面形式の授業

- ・ 学習への取り組みやすさ：オンライン授業は44.8%、対面形式の授業は27.5%
- ・ 内容の分かりやすさ：オンライン授業は31.0%、対面形式の授業は27.8%

IV-5. オンライン授業とこれまでの対面形式の授業のどちらがよかったですか。あてはまるもの一つに○をつけてください。

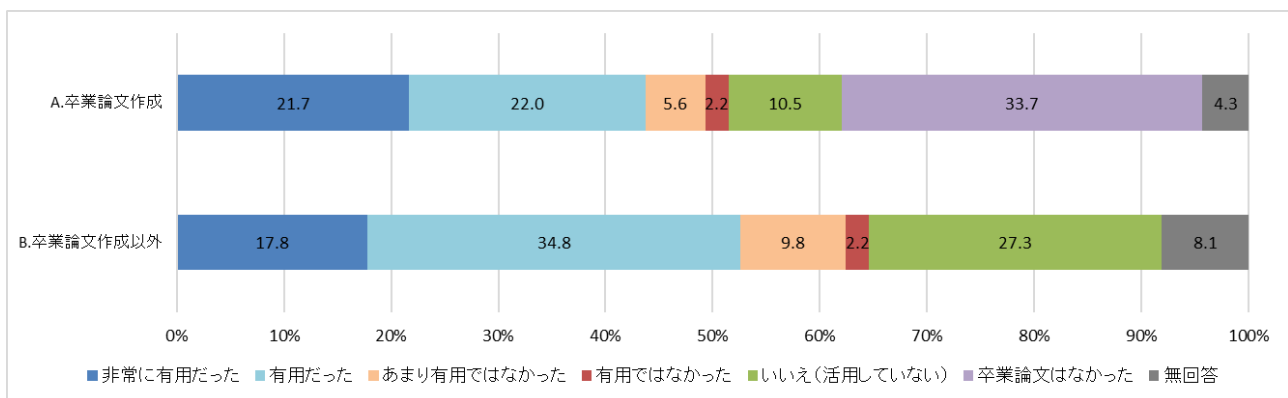


オンライン授業と対面形式の授業について、「A. 学習への取り組みやすさ」では、オンライン授業が44.8%、対面形式の授業が27.5%、どちらともいえないが22.6%となっている。「B. 内容の分かりやすさ」では、オンライン授業が31.0%、対面形式の授業が27.8%、どちらともいえないが36.1%となっている。

IV-6. 指導教員とのやり取りをする上でのオンラインツール

- ・ 「卒業論文作成」に有用だったのは43.7%
- ・ 「卒業論文作成以外」に有用だったのは52.6%

IV-6. つぎの項目について、指導教員とのやり取りをする上で、オンラインツールは役に立ちましたか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



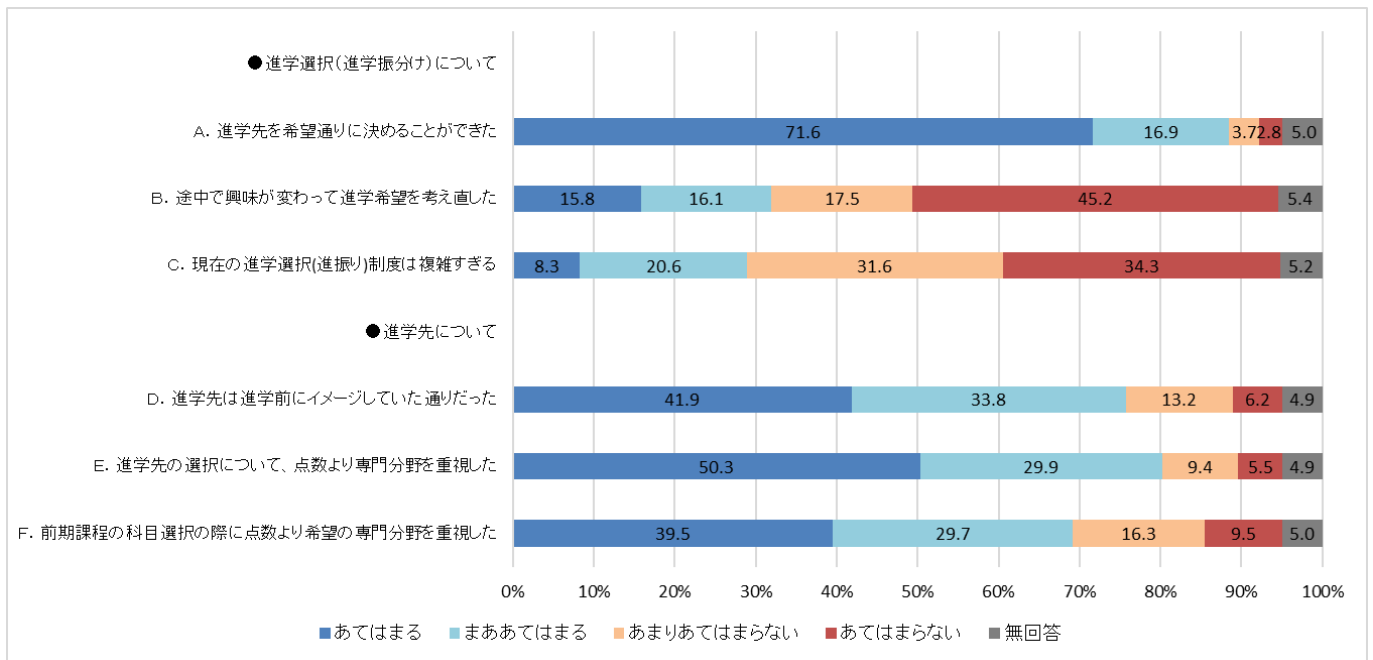
指導教員とのやり取りをする上でのオンラインツールについて、「非常に有用だった」と「有用だった」の合計が、「A. 卒業論文作成」(43.7%)、「B. 卒業論文作成以外」(52.6%)となっている。

V. 前期と後期の接続

V-1. 進学選択（進学振分け）・進学先

- ・「進学先を希望通りに決めることができた」は88.5%
- ・「進学先の選択について、点数より専門分野を重視した」は80.2%
- ・「進学先は進学前にイメージしていた通りだった」は75.7%

V-1. 進学選択（進学振分け）や進学先について伺います。



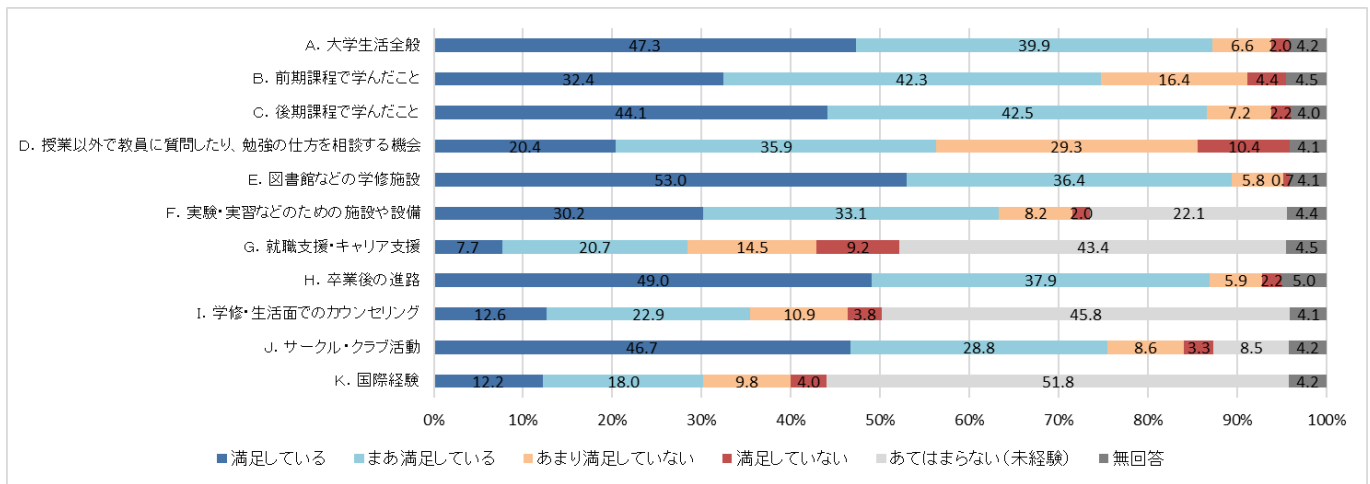
進学選択（進学振分け）や進学先について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「A. 進学先を希望通りに決めることができた」（88.5%）が最も高い割合となっている。次いで「E. 進学先の選択について、点数より専門分野を重視した」（80.2%）、「D. 進学先は進学前にイメージしていた通りだった」（75.7%）の順となっている。

VI. 大学生活を通じた満足度

VI-1. 満足度

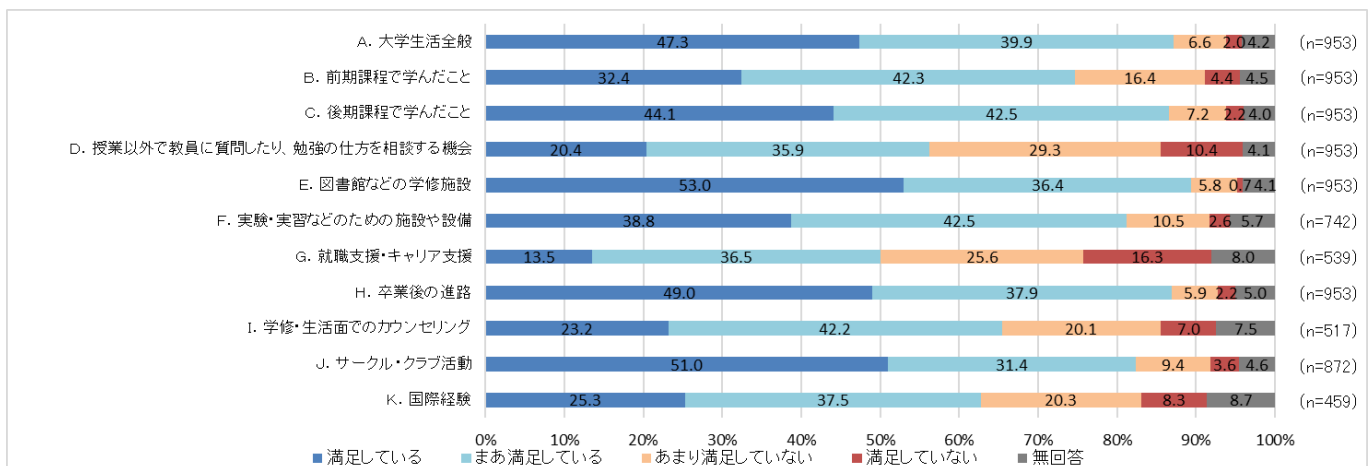
- ・「図書館などの学修施設」は89.4%
- ・「大学生活全般」は87.2%
- ・「卒業後の進路」は86.9%
- ・「後期課程で学んだこと」は86.6%

VI-1. あなたの大学生活を通じた満足度について伺います。



大学生活の満足度について、「満足している」と「まあ満足している」の合計が、「E. 図書館などの学修施設」(89.4%)が最も高い割合となっている。次いで「A. 大学生活全般」(87.2%)、「H. 卒業後の進路」(86.9%)、「C. 後期課程で学んだこと」(86.6%)の順となっている。

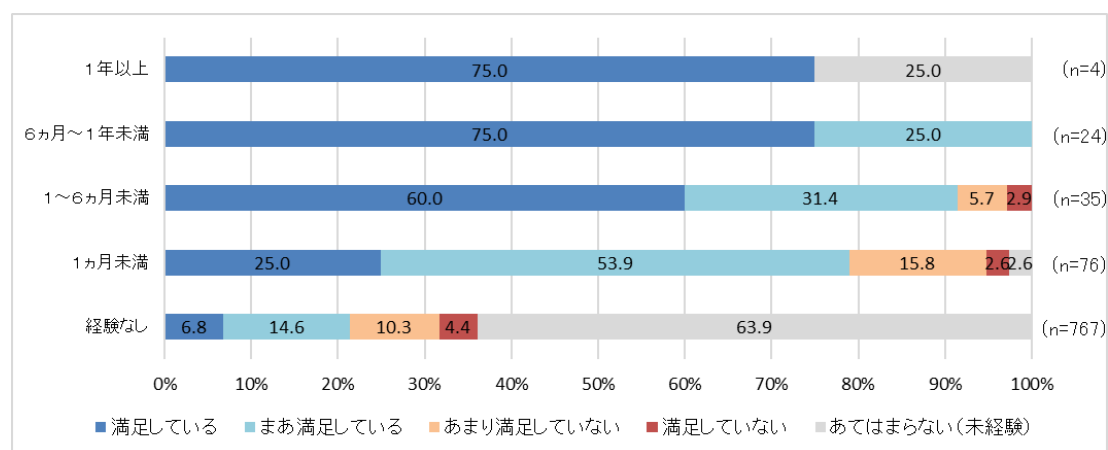
参考として、「F. 実験・実習などのための施設や設備」「G. 就職支援・キャリア支援」「I. 学修・生活面でのカウンセリング」「J. サークル・クラブ活動」「K. 国際経験」の満足度で、「あてはまらない(未経験)」と回答した学生を除いて算出した。



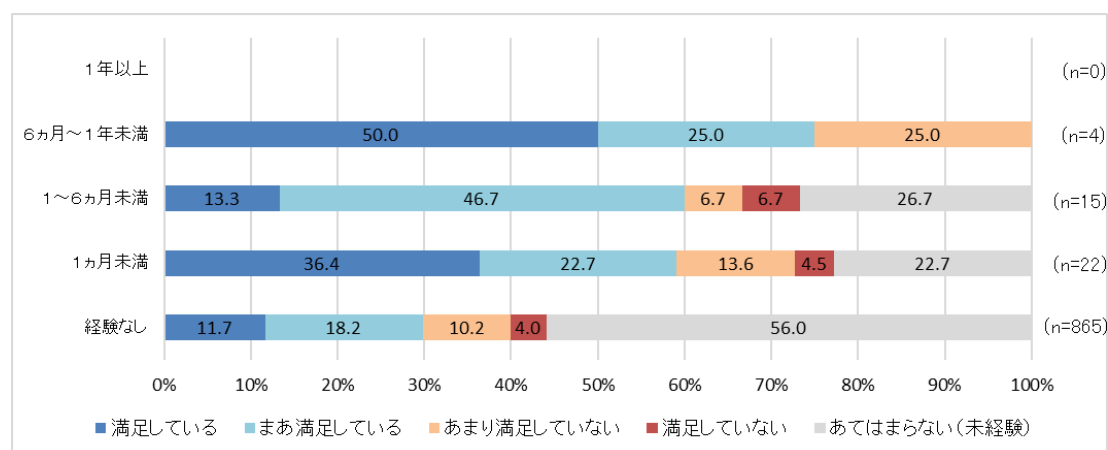
VI-1'. 満足度（留学経験者）

・ 留学経験者の「国際経験」の満足度は高い

III-1 A. 「大学のプログラム/推薦により留学した」 別VI-1 K. 国際経験満足度



III-1 B. 「個人留学した（語学学習）」 別VI-1 K. 国際経験満足度



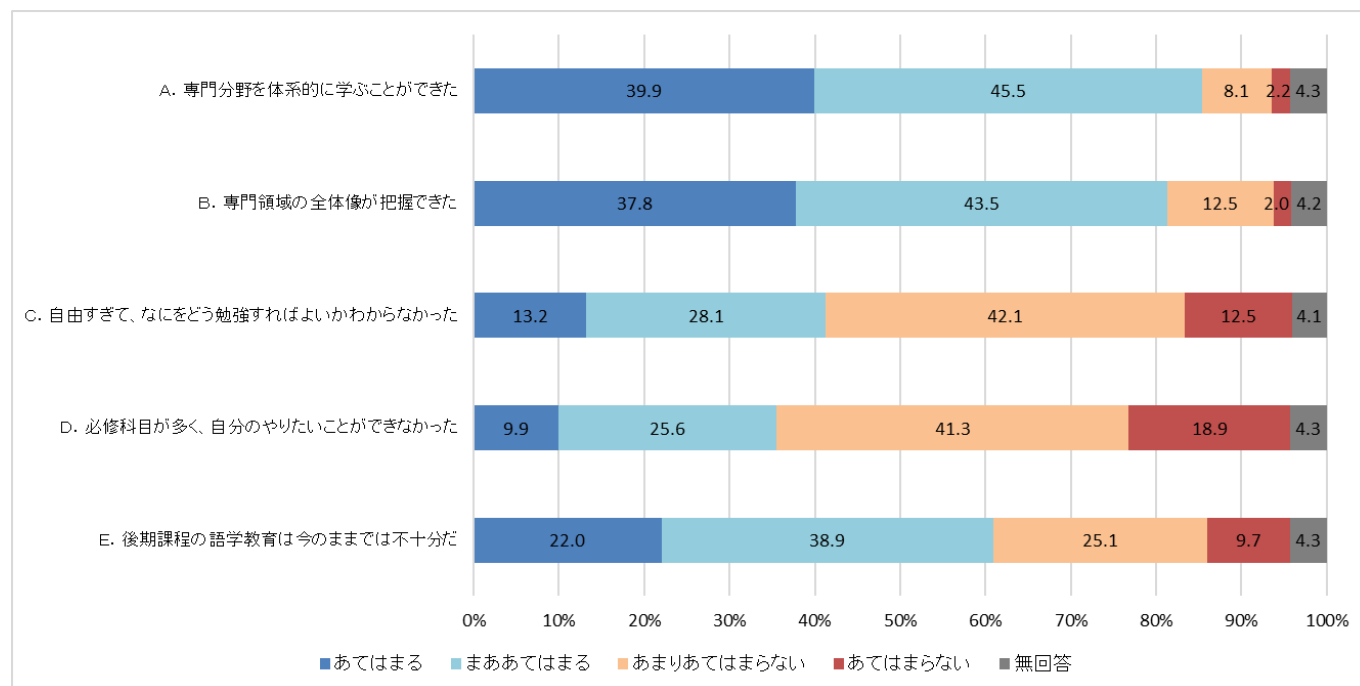
上の図は、「III-1 A. 大学のプログラム/推薦により留学した」と「VI-1 K. 国際経験」の満足度との関連を示したものである。国際経験のない者では、満足度（「満足している」と「まあ満足している」の合計）は21.4%と著しく低く、これに対して、「国際経験」のある者では、「1ヵ月未満」の経験期間の者の満足度が最も低いが、それでも78.9%となっている。また、「1～6ヵ月未満」の経験期間の者の満足度が91.4%、「6ヵ月～1年未満」の経験期間の者の満足度が100%、「1年以上」の経験期間の者の満足度が75.0%となっている。このように、国際経験がある者の満足度は高い。

一方、下の図は、同じように、「III-1 B. 個人留学した（語学学習）」と「VI-1 K. 国際経験」の満足度との関連を示したものである。「III-1 A. 大学のプログラム/推薦により留学した」と同様に、個人留学の国際経験のない者では、満足度は29.9%と低く、国際経験のある者の方が満足度は高い。「1ヵ月未満」、「1～6ヵ月未満」、「6ヵ月～1年未満」の経験期間の者の満足度は「III-1 A. 大学のプログラム/推薦により留学した」より低くなっている。

VI-2. 大学のカリキュラム

- ・「専門分野を体系的に学ぶことができた」は85.4%
- ・「後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ」は60.9%

VI-2. 大学のカリキュラムについて伺います。



カリキュラムの肯定的な項目について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、「A. 専門分野を体系的に学ぶことができた」(85.4%)が最も高い割合となっている。次いで「B. 専門領域の全体像が把握できた」(81.3%)となっている。

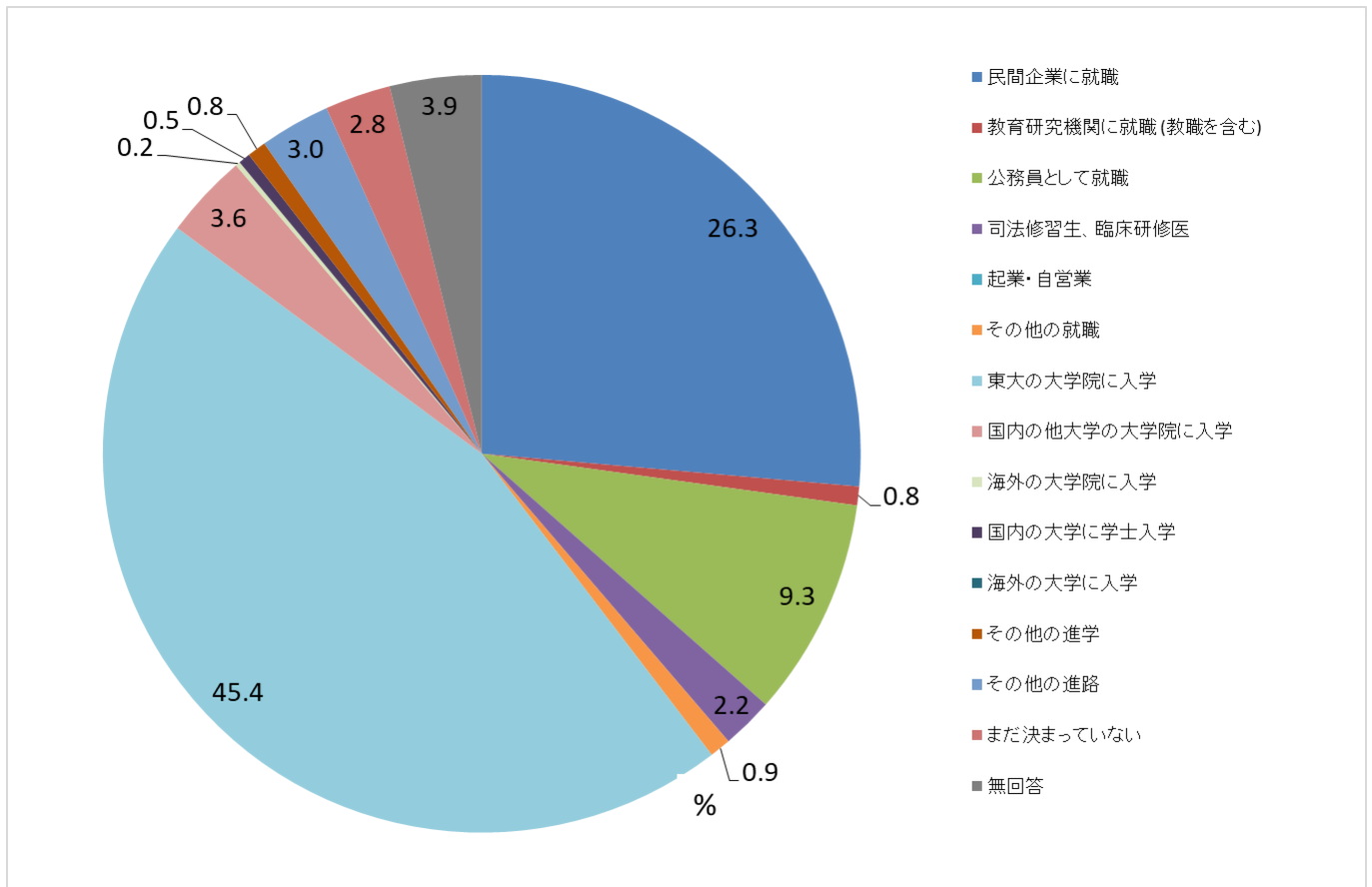
一方で、カリキュラムの肯定的ではない項目について、「E. 後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ」(60.9%)が最も高い割合となっている。次いで「C. 自由すぎて、なにをどう勉強すればよいかわからなかった」(41.3%)、「D. 必修科目が多く、自分のやりたいことができなかった」(35.5%)となっている。

Ⅶ. 卒業後の進路

Ⅶ-1. 卒業後の予定

- ・「入学・進学」は50.5%
- ・「就職」は39.5%（うち「民間企業」は26.3%）

Ⅶ-1. 卒業後の予定は、下の項目ではどれにあたりますか。

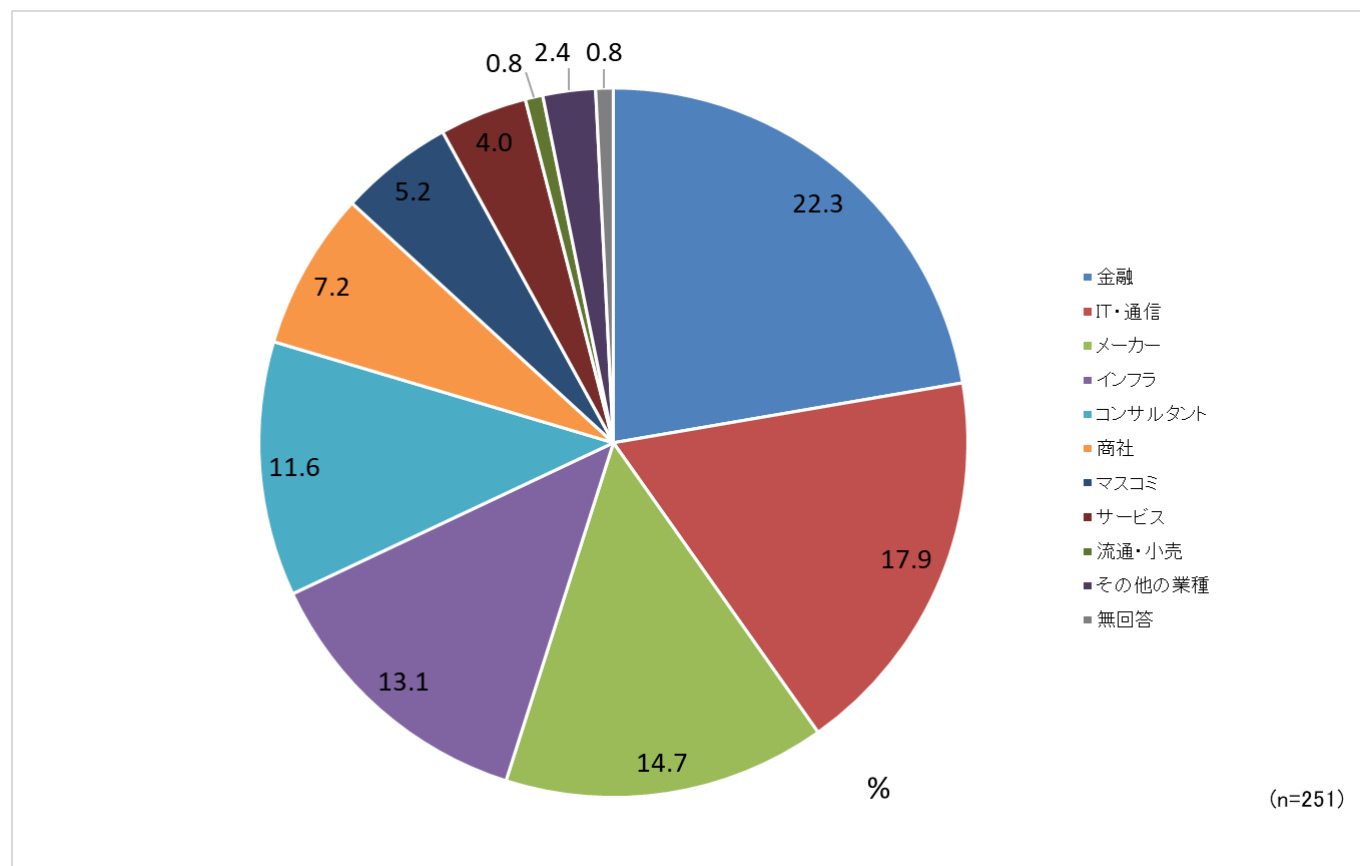


卒業後の予定について、「東大の大学院に入学」(45.4%)、「国内の他大学の大学院に入学」(3.6%)、「海外の大学院に入学」(0.2%)と合わせて、大学院入学予定は49.2%となっている。さらに、「国内の大学に学士入学」(0.5%)、「その他の進学」(0.8%)と合わせて入学・進学は50.5%となっている。

これに対して、「民間企業に就職」(26.3%)、「教育研究機関に就職(教職を含む)」(0.8%)、「公務員として就職」(9.3%)、「司法修習生、臨床研修医」(2.2%)、「その他の就職」(0.9%)と合わせて就職予定は、39.5%となっている。

VII-1'. 民間企業の業種

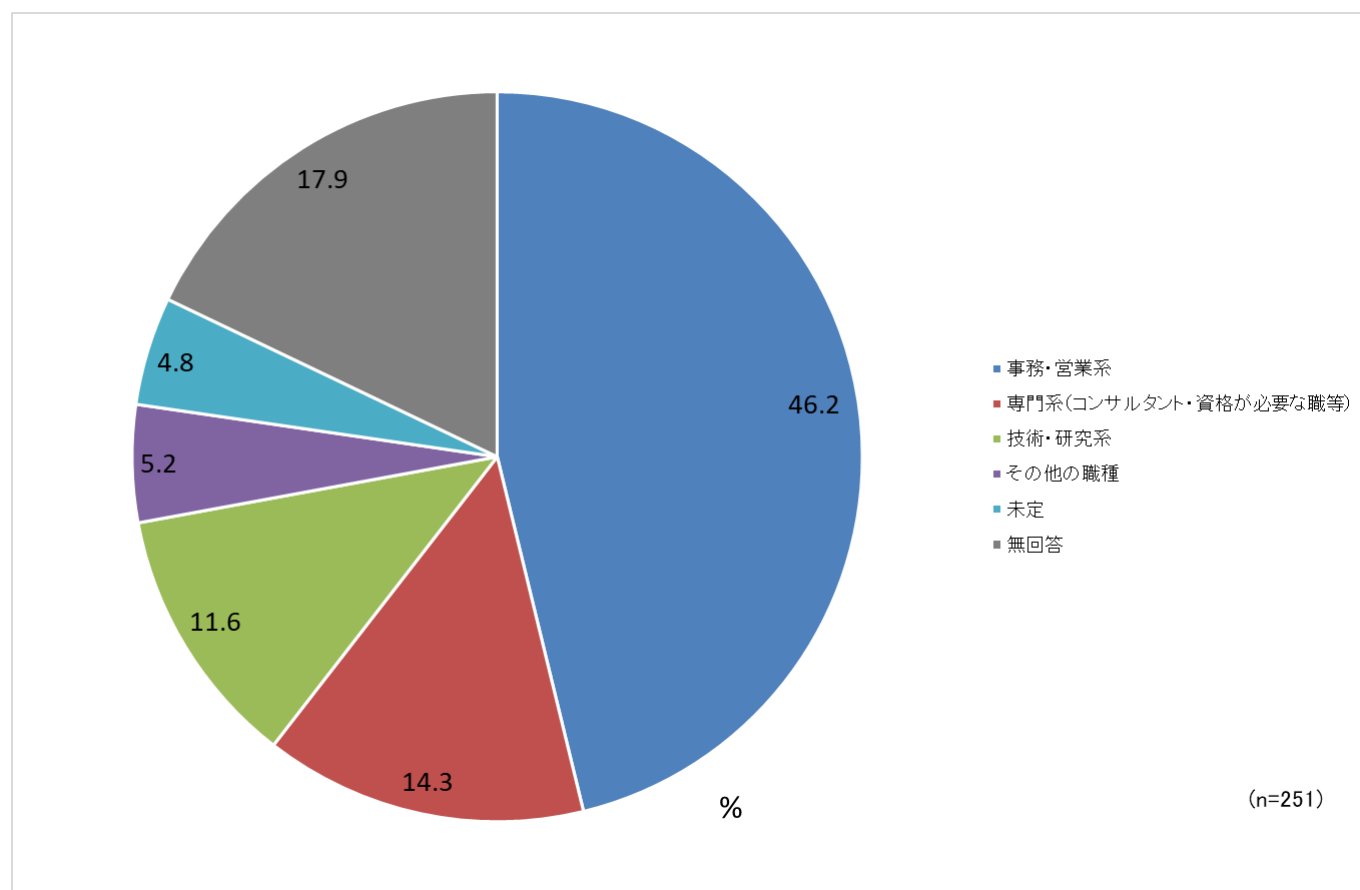
- ・「金融」は22.3%
- ・「IT・通信」は17.9%
- ・「メーカー」は14.7%
- ・「インフラ」は13.1%
- ・「コンサルタント」は11.6%



就職した民間企業の業種について、「金融」(22.3%)、「IT・通信」(17.9%)、「メーカー」(14.7%)、「インフラ」(13.1%)、「コンサルタント」(11.6%)となっている。

VII-1''. 民間企業の職種

- ・「事務・営業系」は46.2%
- ・「専門系（コンサルタント・資格が必要な職等）」は14.3%
- ・「技術・研究系」は11.6%



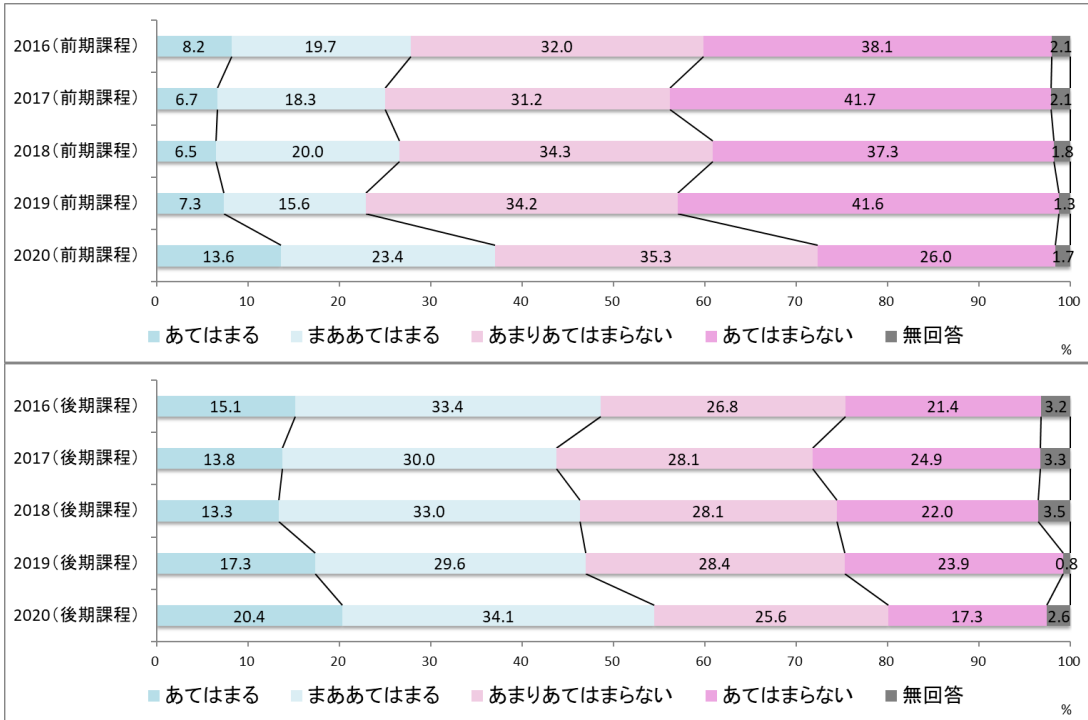
就職した民間企業の職種について、「事務・営業系」（46.2%）、「専門系（コンサルタント・資格が必要な職等）」（14.3%）、「技術・研究系」（11.6%）となっている。

(参考) 経年変化

2008年度(2009年3月実施)から13回目となる今回までの調査結果に増加あるいは減少傾向がみられる項目について経年データを示す。

II-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

A. 自主勉強会など自分の興味ある学修をする機会を得られた



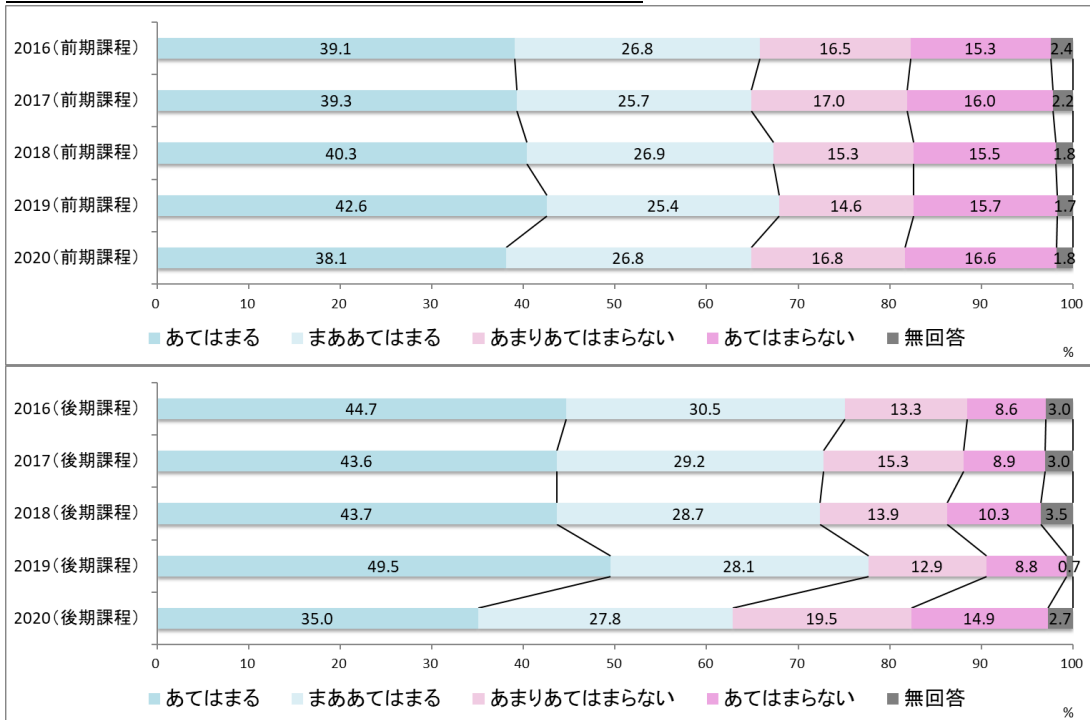
前期課程について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より14.1%増加した。

後期課程について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より7.6%増加した。

2016年度より前期課程と後期課程を分けて調査。
2019年度より「学習」から「学修」に微修正した。

II-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

D. 研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた

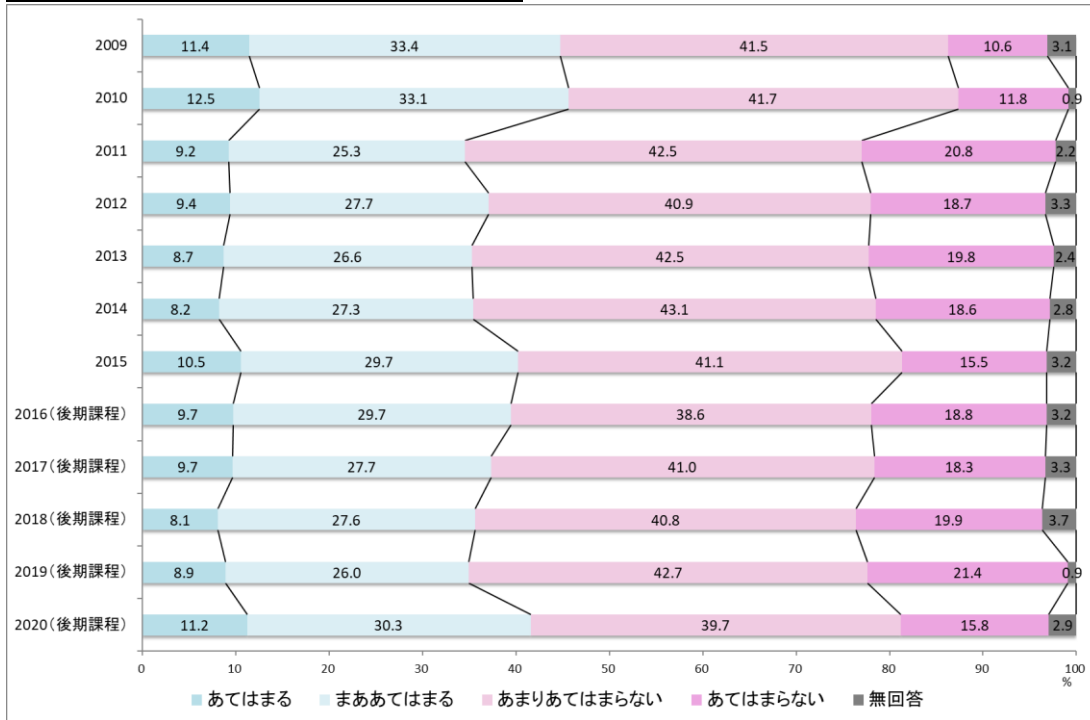


後期課程について、「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より14.8%減少した。

2016年度より前期課程と後期課程を分けて調査。

II-2. 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

H. 後期課程では授業についていくのに苦労した

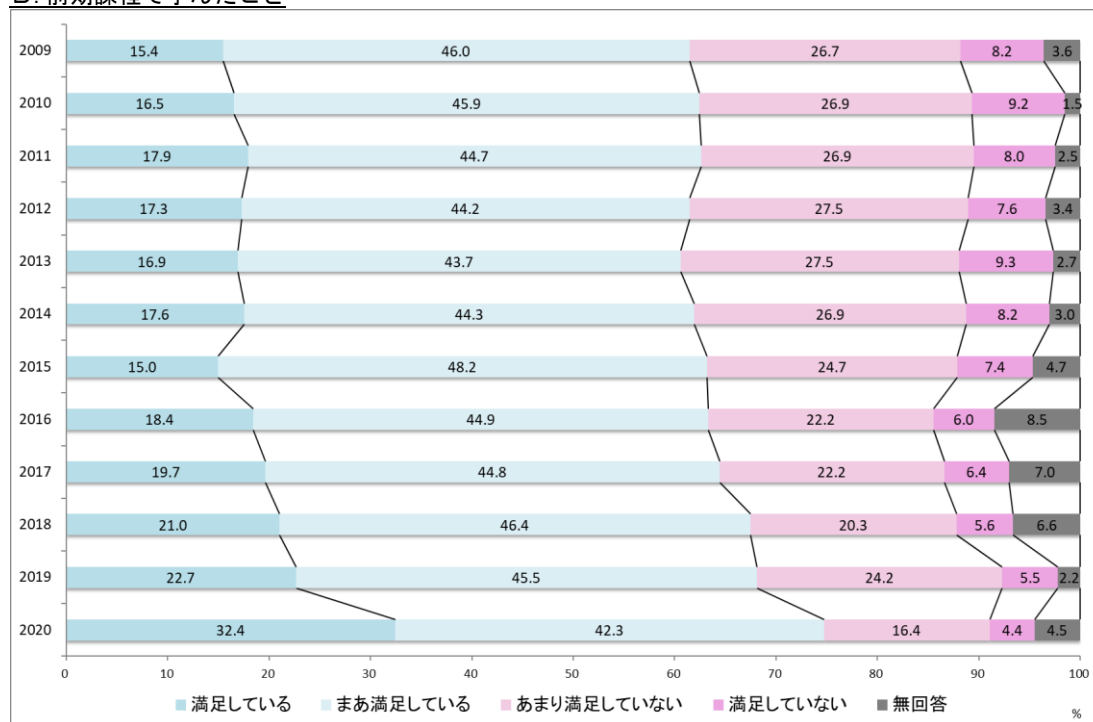


「あてはまる」と「まああてはまる」の合計が、前年度より6.6%増加した。

2011年度より「専門用語などが説明なしに使われ、授業についていけなかった」から「後期課程では授業についていくのに苦労した」に微修正した。

VI-1. あなたの大学生生活を通じた満足度について伺います。

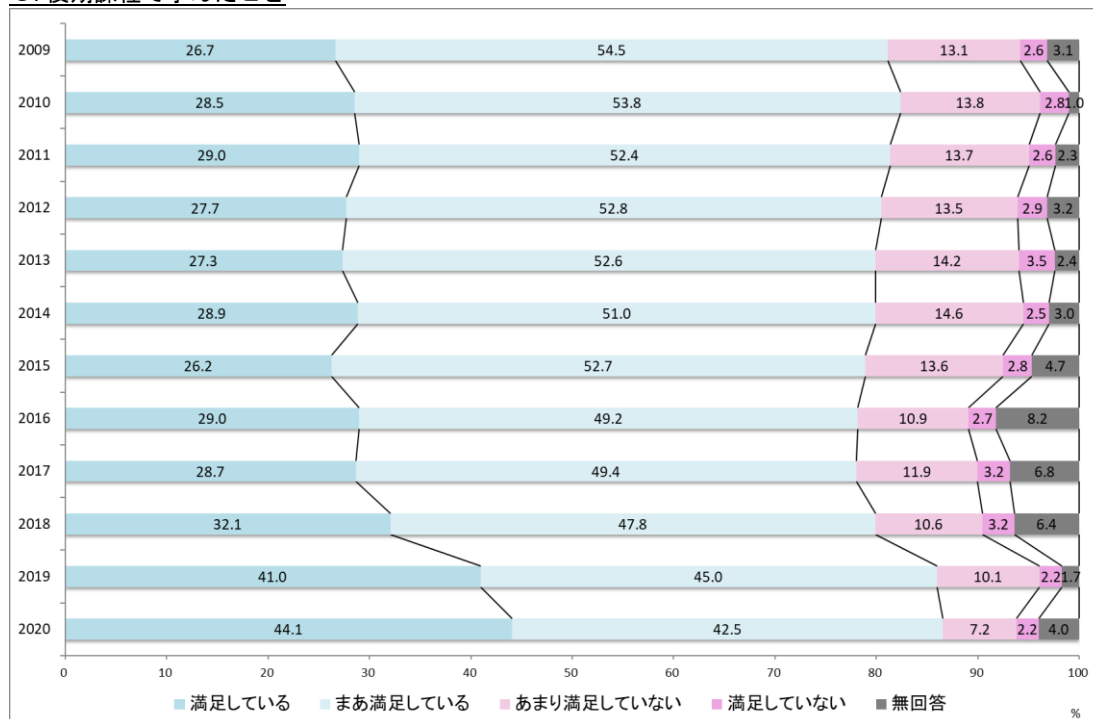
B. 前期課程で学んだこと



「満足している」の割合が増加傾向にある。

VI-1. あなたの大学生生活を通じた満足度について伺います。

C. 後期課程で学んだこと



「満足している」の割合が増加傾向にある。

大学教育の達成度調査(2008年度-2020年度) 回収率 2021年7月1日現在

	2008年度			2009年度			2010年度			2011年度			2012年度		
	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率
法学部	408	152	37.3%	398	156	39.2%	398	32	8.0%	425	407	95.8%	407	395	97.1%
医学部	133	23	17.3%	129	19	14.7%	109	20	18.3%	121	18	14.9%	124	112	90.3%
工学部	895	93	10.4%	897	437	48.7%	943	681	72.2%	978	631	64.5%	950	630	66.3%
文学部	336	42	12.5%	291	263	90.4%	370	265	71.6%	352	272	77.3%	360	303	84.2%
理学部	305	225	73.8%	277	202	72.9%	293	228	77.8%	318	240	75.5%	282	239	84.8%
農学部	279	258	92.5%	272	247	90.8%	267	245	91.8%	279	257	92.1%	266	233	87.6%
経済学部	337	275	81.6%	354	330	93.2%	358	349	97.5%	333	304	91.3%	329	287	87.2%
教養学部 (後期課程)	165	35	21.2%	141	25	17.7%	184	21	11.4%	154	144	93.5%	186	148	79.6%
教育学部	96	40	41.7%	102	29	28.4%	101	20	19.8%	110	105	95.5%	99	96	97.0%
薬学部	90	84	93.3%	78	73	93.6%	78	75	96.2%	91	90	98.9%	86	81	94.2%
合計	3,044	1,227	40.3%	2,939	1,781	60.6%	3,101	1,936	62.4%	3,161	2,468	78.1%	3,089	2,524	81.7%

	2013年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度		
	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率
法学部	409	387	94.6%	390	389	99.7%	376	365	97.1%	386	367	95.1%	396	382	96.5%
医学部	129	121	93.8%	126	113	89.7%	131	124	94.7%	136	121	89.0%	119	109	91.6%
工学部	966	669	69.3%	956	610	63.8%	940	639	68.0%	973	658	67.6%	981	760	77.5%
文学部	327	294	89.9%	372	318	85.5%	311	273	87.8%	338	279	82.5%	279	238	85.3%
理学部	280	203	72.5%	301	228	75.7%	292	206	70.5%	307	243	79.2%	301	221	73.4%
農学部	272	234	86.0%	272	241	88.6%	269	243	90.3%	254	219	86.2%	268	213	79.5%
経済学部	343	292	85.1%	357	284	79.6%	319	250	78.4%	345	201	58.3%	323	236	73.1%
教養学部 (後期課程)	166	158	95.2%	175	156	89.1%	171	143	83.6%	169	137	81.1%	192	141	73.4%
教育学部	108	99	91.7%	90	75	83.3%	99	98	99.0%	90	80	88.9%	101	94	93.1%
薬学部	84	80	95.2%	82	80	97.6%	89	86	96.6%	82	65	79.3%	78	69	88.5%
合計	3,084	2,537	82.3%	3,121	2,494	79.9%	2,997	2,427	81.0%	3,080	2,370	76.9%	3,038	2,463	81.1%

	2018年度			2019年度			2020年度		
	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率	卒業者数	回収枚数	回収率
法学部	360	345	95.8%	358	42	11.7%	408	335	82.1%
医学部	132	119	90.2%	126	29	23.0%	146	6	4.1%
工学部	982	844	85.9%	966	641	66.4%	951	147	15.5%
文学部	317	283	89.3%	334	308	92.2%	345	70	20.3%
理学部	267	225	84.3%	293	83	28.3%	299	159	53.2%
農学部	278	236	84.9%	261	50	19.2%	235	86	36.6%
経済学部	314	302	96.2%	335	40	11.9%	323	34	10.5%
教養学部 (後期課程)	187	117	62.6%	183	56	30.6%	180	57	31.7%
教育学部	99	98	99.0%	96	35	36.5%	107	46	43.0%
薬学部	81	63	77.8%	78	27	34.6%	89	13	14.6%
合計	3,017	2,632	87.2%	3,030	1,311	43.3%	3,083	953	30.9%

※ 各年度の卒業生数は3月卒業生のみ

問い合わせ：教育・学生支援部学務課教育改革推進チーム

【付属資料 調査票】

※一部の学部では学籍番号に関する質問(I-12)を使用しなかった。

2021年3月

大学教育の達成度調査

東京大学 教育運営委員会
学部・大学院教育部会 達成度調査WG

調査へのご協力をお願い

この調査は東京大学の教育・研究環境の向上を目的として、卒業される学生の皆さんに、東京大学の教育や学修環境、学修経験や大学生活についてお聞きするものです。

本アンケートは、本学で分析し、その結果を本学の自己評価および教育改善に利用し、本学webページ (<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/students/edu-data/graduatesurvey.html>) において公表します。答えにくい設問は、差し支えない範囲で回答してください。回答の所要時間は30分程度です。皆さんの回答が大学の貴重な資料となりますので、是非ご協力をお願いします。

個人情報の取扱い

本アンケートの実施・集計等に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた者（以下「受託者」という。）において行うことがあります。ついては、受託者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、アンケートの回答の全部又は一部を提供します。その際には、個人情報の保護に関する法令及び本学関連規則等に基づいて必要な処置を行います。また、本アンケートの結果は、統計処理を行う資料としてのみ活用し、回答者の個人的な情報を公にすることは一切ありません。

回答データは、回答者の個人情報及びプライバシー保護に留意し、厳重に保管します。

I. あなた自身について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

I-1 あなたは学部学生で、2021年3月に卒業予定ですか？：

- | | |
|-------|--------------------------------|
| 1. はい | 2. いいえ→この調査の対象ではありません。回答は不要です。 |
|-------|--------------------------------|

I-2 入学試験：

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 一般入試 | 2. 推薦入試 |
| 3. 特別選考（第1種：私費留学生） | 4. 特別選考（第2種：帰国生徒） |
| 5. 特別選考（PEAK：学部英語コース） | 6. 特別選考（国費留学生等） |
| 7. 編入・再入学・学士入学 →I-5へ | |

I-3 前期課程 入学年度：

- | | | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 2017以降 | 2. 2016 | 3. 2015 | 4. 2014 | 5. 2013 | 6. 2012以前 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|

I-4 前期課程 科類：

- | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1. 文一 | 2. 文二 | 3. 文三 | 4. 理一 | 5. 理二 | 6. 理三 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|

I-5 後期課程 入・進学年度：

- | | | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 2019以降 | 2. 2018 | 3. 2017 | 4. 2016 | 5. 2015 | 6. 2014以前 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|-----------|

I-6 後期課程 所属学部等：

- | | | | |
|--------------|--------------|---------------|------------|
| 1. 法学部 | 2. 医学部(医学) | 3. 医学部(健康総合) | 4. 工学部 |
| 5. 文学部 | 6. 理学部 | 7. 農学部(生命・環境) | 8. 農学部(獣医) |
| 9. 経済学部 | 10. 教養学部(文系) | 11. 教養学部(理系) | 12. 教育学部 |
| 13. 薬学部(薬科学) | 14. 薬学部(薬学) | | |

I-7 所属学科・コース等：

I-8 性別：

- | | | | |
|------|------|--------|----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. その他 | 4. 回答しない |
|------|------|--------|----------|

I-9 通学・住居：

- | | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|--------|
| 1. 自宅通学 | 2. 自宅外通学 | 3. 東大学生宿舎 | 4. その他学生寮 | 5. その他 |
|---------|----------|-----------|-----------|--------|

I-10 出身高校等：種別

- | | | | | | |
|---------|---------|---------|----------|-------------------------------|------------|
| 1. 国立高校 | 2. 公立高校 | 3. 私立高校 | 4. 外国の学校 | 5. 高等学校卒業程度認定試験(廃止前の大学入学資格認定) | 6. その他 () |
|---------|---------|---------|----------|-------------------------------|------------|

I-11 高校受験経験の有無

- | | |
|-------|-------|
| 1. あり | 2. なし |
|-------|-------|

I-12 後期課程 学籍番号：

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

※学籍番号の記入は任意ですが、東京大学の教育・研究環境の向上に役立てるため他のデータとともに分析することがあります。あなたの回答が他に知られることがないよう、学籍番号は暗号化して分析しますのでご協力ください。

Ⅱ. 在学時の経験について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

Ⅱ-1 入学時の様子について伺います。つぎのことは、どの程度あてはまりますか。

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
A. 大学に入ってからやりたいことが明確に決まっていた	1	2	3	4
B. 大学の授業は、やりたいことに密接に関わっていると考えていた	1	2	3	4
C. 授業を通じてやりたいことを見つけたいと考えていた	1	2	3	4
D. 入学前から、受験勉強の範囲を超えて、アカデミックな知識や思想について勉強していた	1	2	3	4

Ⅱ-2 大学時代を通じての経験を総合して、つぎのようなことはどの程度あてはまりますか。前期課程と後期課程について、それぞれお答えください。

	前期課程				後期課程			
	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
A. 自主勉強会など自分の興味ある学修をする機会を得られた	1	2	3	4	1	2	3	4
B. 一つのことに没頭して取り組んだことがある	1	2	3	4	1	2	3	4
C. 優れた友人に感化された	1	2	3	4	1	2	3	4
D. 研究室やサークルなどのOB、OGと知り合いになれた	1	2	3	4	1	2	3	4
E. 自分の専門以外の本をよく読んだ	1	2	3	4	1	2	3	4
F. 専門書や学術雑誌をよく読んだ	1	2	3	4	1	2	3	4
G. 前期課程では、後期課程の授業を理解するだけの能力や前提となる知識が身につかなかった	1	2	3	4				
H. 後期課程では授業についていくのに苦労した								
I. 就職活動に時間を割きすぎた								

Ⅱ-3 大学が提供するプログラム等の履修または参加について伺います。それぞれについて、「履修または参加した（「非常に有用だった」、「有用だった」、「あまり有用ではなかった」、「有用ではなかった」）」、「知っているが履修または参加したことはない」、「知らない」に分けて、あてはまる番号に○をつけてください。

	履修または参加した				知っているが履修または参加したことはない	知らない
	非常に有用だった	有用だった	あまり有用ではなかった	有用ではなかった		
A. 学部横断型教育プログラム	1	2	3	4	5	6
B. FLY プログラム	1	2	3	4	5	6
C. 国際研修	1	2	3	4	5	6
D. 前期トライリンガル・プログラム	1	2	3	4	5	6
E. 後期トライリンガル・プログラム	1	2	3	4	5	6
F. GLP-GEFIL	1	2	3	4	5	6
G. グローバルキャンパス推進本部(旧国際本部) 短期プログラム	1	2	3	4	5	6
H. USTEP (全学交換留学)	1	2	3	4	5	6
I. スペシャル・イングリッシュ・レッスン	1	2	3	4	5	6
J. 体験活動プログラム(研究室体験)	1	2	3	4	5	6
K. 体験活動プログラム(国内)	1	2	3	4	5	6
L. 体験活動プログラム(海外)	1	2	3	4	5	6
M. フィールドスタディ型政策協働プログラム (オンラインFS地域交流会を含む)	1	2	3	4	5	6
N. UGIP 世界一周型、UGIP 地域滞在型 (UGIP グローバル・ワークショップを含む)	1	2	3	4	5	6
O. 後期教養科目	1	2	3	4	5	6

II-4 在学時の学修機会・経験について伺います。

	はい				いいえ (経験して いない)
	非常に 有用だった	有用だった	あまり有用 ではなかった	有用 ではなかった	
A. 卒業論文/ 研究を行った	1	2	3	4	5
B. 研究室やゼミでの少人数教育を経験した	1	2	3	4	5
C. (学内で) 自分とは異なる国の学生と交流した	1	2	3	4	5
D. 東大で語学以外の英語による授業を受講した	1	2	3	4	5
E. それ以外の国際交流活動を行った(外国人留学生等の支援等 も含む)	1	2	3	4	5
F. インターンシップ・プログラム(5日以上に限る)に参加した	1	2	3	4	5
G. ボランティアに参加した	1	2	3	4	5
H. 図書館やアクティブラーニングスペースなど大学施設を活 用して学習した	1	2	3	4	5

II-5 典型的な1週間(土、日を含む)の平均的な生活時間を、学期中について伺います。それぞれの活動に1週間(7日)あたり何時間あててきたか、およその時間数に該当する数字を1つ選んで、それぞれの欄に記入してください。

		1週間(7日)あたり	0 時間	1-5 時間	6-10 時間	11-15 時間	16-20 時間	21-30 時間	31時間 以上
学期中	A. 授業・実験への出席 (卒業研究・卒業実験・卒論を除く)	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7
	B. 授業・実験の課題・準備・復習	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7
	C. 卒業研究・卒業実験・卒論	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7
	D. 授業とは関係のない勉強	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7
	E. 部活動・サークル・クラブ活動	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7
	F. アルバイト・仕事	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7
	G. ボランティア活動	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7
		後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7
H. 就職に関わる活動	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	
	後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	
I. 趣味・娯楽・交友	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	
	後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	
J. スマートフォンの使用 ※学習のために使用している時間は 除く	後期課程(最終年次以外)	1	2	3	4	5	6	7	
	後期課程(最終年次)	1	2	3	4	5	6	7	

II-6 あなたの成績について伺います。「優」(A)は何割くらいありましたか。数値を()に記入してください。「優上」を含めた割合をお答えください。

優(A)の割合 ()割

Ⅲ. 在学時の海外経験等について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

Ⅲ-1-① 在学時の海外経験等について、それぞれあてはまるもの一つに○をつけてください。

	経験あり				経験なし
	1ヵ月未満	1-6ヵ月未満	6ヵ月-1年未満	1年以上	
A. 大学のプログラム／推薦により留学した	1	2	3	4	5
B. 個人留学した（語学学習）	1	2	3	4	5
C. 個人留学した（語学学習以外）	1	2	3	4	5
D. 海外でインターンシップ(5日以上のもの)に参加した	1	2	3	4	5
E. 海外でボランティアに参加した	1	2	3	4	5
F. 大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベントに参加した	1	2	3	4	5
G. 海外での研究・調査等や国際会議等に参加した	1	2	3	4	5
H. 上記以外に海外に行った経験がある	1	2	3	4	5

Ⅲ-1-② 上記Ⅲ-1-① で「経験あり」を選択した場合は時期をお答えください。複数の年度で複数回経験している場合には、それぞれの時期に○をつけてください。

	前期課程 (1～2年生)	前期から後期に跨り (2～3年生)	後期課程 (3年生～)
A. 大学のプログラム／推薦により留学した	1	2	3
B. 個人留学した（語学学習）	1	2	3
C. 個人留学した（語学学習以外）	1	2	3
D. 海外でインターンシップ(5日以上のもの)に参加した	1	2	3
E. 海外でボランティアに参加した	1	2	3
F. 大学や学生団体等が主催する海外の学生との交流イベントに参加した	1	2	3
G. 海外での研究・調査等や国際会議等に参加した	1	2	3
H. 上記以外に海外に行った経験がある	1	2	3

Ⅲ-1-③ 在学中に留学しなかった方(上記Ⅲ-1-①のAからCの経験がない方)に伺います。

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
A. 積極的に留学をしたいと考えたことがある	1	2	3	4
B. 語学力の問題で留学をあきらめた	1	2	3	4
C. 経済的な問題で留学をあきらめた	1	2	3	4
D. 留年しなければならなかったので留学をあきらめた	1	2	3	4
E. 大学の年間スケジュールのため、留学をあきらめた	1	2	3	4
F. 大学院入試のため、留学をあきらめた	1	2	3	4
G. 就職活動のため、留学をあきらめた	1	2	3	4
H. 部活動・サークル活動のため、留学をあきらめた	1	2	3	4
I. 新型コロナウイルス感染症の問題で、留学をあきらめた	1	2	3	4

Ⅲ-2 あなたは、在学中にTOEFL iBTやTOEIC、IELTS等の公式テストを受験したことがありますか。また、点数はどのくらいでしたか。

A. TOEFL iBT	1. 受験経験なし	受験経験あり（以下から点数を選んでください）							
		2. 0～41点	3. 42～57点	4. 58～71点	5. 72～83点	6. 84～94点	7. 95～106点	8. 107点～	
B. TOEIC Listening & Reading	1. 受験経験なし	受験経験あり（以下から点数を選んでください）							
		2. 0～224点	3. 225～545点	4. 550～665点	5. 670～780点	6. 785～865点	7. 870～940点	8. 945点～	
C. TOEIC Speaking & Writing	1. 受験経験なし	受験経験あり（以下から点数を選んでください）							
		2. 0～159点	3. 160～239点	4. 240～270点	5. 275～305点	6. 310～330点	7. 335～355点	8. 360点～	
D. IELTS	1. 受験経験なし	受験経験あり（以下から点数を選んでください）							
		2. 0～3.5点	3. 4.0～5.0点	4. 5.5～6.5点	5. 7.0～8.0点	6. 8.5点～			
E. その他の公式テスト(外国語)	1. 受験経験なし	受験経験あり							
		2. (名称) () ()点満点で()点くらい							

IV. 在学時の学修について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

IV-1 あなたは、つぎのような点を身につけたと思いますか。

	身についた	まあ 身についた	あまり 身につけていない	身につけていない
A. 学科・課程の専門領域について、最先端の研究を含めた知識・考え方	1	2	3	4
B. 専門の枠を超えた、所属する学部に通ずるような基本的な知識・考え方	1	2	3	4
C. 専門領域を越えた、幅広い知識やものの見方	1	2	3	4
D. 課題を発見し解決方法を考える能力	1	2	3	4
E. 広い視野からの判断力	1	2	3	4
F. 公共的な責任感や倫理観	1	2	3	4
G. 異なる文化や価値観の理解・尊重	1	2	3	4
H. 今まで経験しなかったことに挑戦する意欲	1	2	3	4
I. グローバルな思考と行動力	1	2	3	4
J. 自分なりに学問を俯瞰すること	1	2	3	4
K. 将来の方向性	1	2	3	4
L. 社会に出てすぐに役に立つような知識やスキル	1	2	3	4
M. 問題を設定して、体系的に分析する能力	1	2	3	4
N. 論理的な文章をまとめる能力	1	2	3	4
O. 自分の考えを人に伝える能力	1	2	3	4
P. 人間関係をうまく保ち協働する能力	1	2	3	4
Q. 外国語の論文や本を読む能力	1	2	3	4
R. 外国語を使う能力	1	2	3	4
S. 外国のことを日本と比較して理解する能力	1	2	3	4
T. 自ら企画を立て、実現させていく能力	1	2	3	4
U. ITを利用する能力	1	2	3	4
V. 文献・資料・データを収集・分析する力	1	2	3	4
W. 統計数理の知識・技能	1	2	3	4

IV-2 教員や教育制度との関係、受講した授業について伺います。

	あてはまる	まあ あてはまる	あまり あてはまらない	あてはまらない	
A. 所属学科・コースの教員の指導は十分だった	1	2	3	4	
B. 優れた教員に影響を受けた	1	2	3	4	
C. 授業内容の意義や必要性を十分に説明してくれた	1	2	3	4	
D. 理解がしやすいように教え方が工夫されていた	1	2	3	4	
E. TA(ティーチング・アシスタント)が役に立った	1	2	3	4	5 TAのいる授業を受講していない
F. 小テストやレポートなどの課題が出された ※期末テストは除く	1	2	3	4	
G. 適切なコメントが付されて課題などの提出物が返却された	1	2	3	4	5 提出物の返却はなかった
H. グループワークやディスカッションの機会があった	1	2	3	4	
I. 教員から意見を求められたり、質疑応答の機会があった	1	2	3	4	

IV-3 あなたが今年度に大学で受けたオンライン授業の中で、つぎのような授業はおおよそどれくらいありましたか。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

	ほとんど なかった	あまり なかった	ある程度 あった	よくあった
A. オンラインで教員が一方的に講義をする授業	1	2	3	4
B. オンラインで教員と学生の間に対話がある授業	1	2	3	4
C. オンラインで学生同士のディスカッションがある授業	1	2	3	4
D. オンラインで録画をいつでも見られる授業	1	2	3	4
E. オンラインで講義がなく課題だけが出される授業	1	2	3	4
F. オンラインと対面を組み合わせた授業	1	2	3	4

IV-4 東京大学でのオンライン授業への取り組みに対して、あなたはどのように感じていますか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. とても満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. とても不満 |
|--|

IV-5 オンライン授業とこれまでの対面形式の授業のどちらがよかったですか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

	オンライン授業	対面形式の授業	どちらとも いえない
A. 学習への取り組みやすさ	1	2	3
B. 内容の分かりやすさ	1	2	3

IV-6 つぎの項目について、指導教員とのやり取りをする上で、オンラインツールは役に立ちましたか。
あてはまるもの一つに○をつけてください。

	はい				いいえ (活用して いない)	6 卒業論文は なかった
	非常に 有用だった	有用だった	あまり有用 ではなかった	有用 ではなかった		
A. 卒業論文作成	1	2	3	4	5	
B. 卒業論文作成以外	1	2	3	4	5	

IV-7 コロナ禍の中でどのようなサポートを東京大学にしてほしかったですか。
意見を自由にお書きください。

V. 前期と後期の接続について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

V-1 進学選択（進学振分け）や進学先について伺います。

		あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
進学選択（進学振分け）について	A. 進学先を希望通りに決めることができた	1	2	3	4
	B. 途中で興味が変わって進学希望を考え直した	1	2	3	4
	C. 現在の進学選択（進振り）制度は複雑すぎる	1	2	3	4
進学先について	D. 進学先は進学前にイメージしていた通りだった	1	2	3	4
	E. 進学先の選択について、点数より専門分野を重視した	1	2	3	4
	F. 前期課程の科目選択の際に点数より希望の専門分野を重視した	1	2	3	4

VI. 大学生活を通じた満足度について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

VI-1 あなたの大学生活を通じた満足度について伺います。

	満足している	まあ満足している	あまり満足していない	満足していない	あてはまらない（未経験）	
A. 大学生活全般	1	2	3	4		
B. 前期課程で学んだこと	1	2	3	4		
C. 後期課程で学んだこと	1	2	3	4		
D. 授業以外で教員に質問したり、勉強の仕方を相談する機会	1	2	3	4		
E. 図書館などの学修施設	1	2	3	4		
F. 実験・実習などのための施設や設備	1	2	3	4	5	
G. 就職支援・キャリア支援	1	2	3	4	5	
H. 卒業後の進路	1	2	3	4		
I. 学修・生活面でのカウンセリング	1	2	3	4		5
J. サークル・クラブ活動	1	2	3	4		5
K. 国際経験	1	2	3	4	5	

VI-2 大学のカリキュラムについて伺います。

	あてはまる	まああてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
A. 専門分野を体系的に学ぶことができた	1	2	3	4
B. 専門領域の全体像が把握できた	1	2	3	4
C. 自由すぎて、なにをどう勉強すればよいかわからなかった	1	2	3	4
D. 必修科目が多く、自分のやりたいことができなかった	1	2	3	4
E. 後期課程の語学教育は今のままでは不十分だ	1	2	3	4

VII. 卒業後の進路について伺います。それぞれ、あてはまるもの一つに○をつけてください。

VII-1 卒業後の予定は、下の項目ではどれにあたりますか。

働く	1. 民間企業に就職 ※右記から業種と職種を 1つずつ選択して下さい	業種 : 1. メーカー …… (農林・食品・医薬品・建設・機械・電機・素材など) 2. 商社 …… (総合・専門) 3. 流通・小売 …… (百貨店・スーパー・コンビニ・専門店など) 4. 金融 …… (銀行・証券・保険・クレジットなど) 5. インフラ …… (不動産・運輸・電力・ガス・エネルギーなど) 6. サービス …… (レストラン・ホテル・医療・福祉・教育など) 7. コンサルタント (コンサルタント・シンクタンク・調査など) 8. IT・通信 …… (ソフトウェア・情報処理・ゲームソフト・通信など) 9. マスコミ …… (放送・新聞・出版・広告・芸能など) 10. その他の業種
		職種 : 1. 事務・営業系 2. 技術・研究系 3. 専門系(コンサルタント・資格が必要な職等) 4. その他の職種 (具体的に :) 5. 未定
		2. 教育研究機関に就職 (教職を含む)
		3. 公務員として就職
		4. 司法修習生、臨床研修医
		5. 起業・自営業
	6. その他の就職 (具体的に :)	
学ぶ		7. 東大の大学院に入学 (研究科名 :)
		8. 国内の他大学の大学院に入学
		9. 海外の大学院に入学
	10. 国内の大学に学士入学	
	11. 海外の大学に入学	
	12. その他の進学 (具体的に :)	
その他		13. その他の進路 (具体的に :)
未定		14. まだ決まっていない

VIII. 自由記述

VIII-1 東京大学の学修環境、カリキュラム、あなたの学修経験・大学生活等について、満足だった点、不満だった点を具体的にお書きください。

VIII-2 東京大学の教育や学修環境の向上のために何が必要だと思いますか。意見を自由にお書きください。

これで終わりです。ご協力ありがとうございました。